

人口動態等に関する報告書

【令和3年度】



【参考】各地区にある鉄道駅

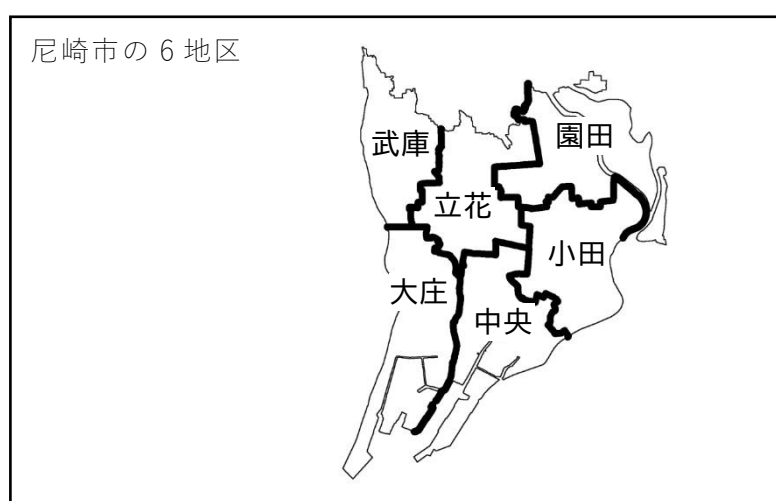
- | | |
|------------------------|--------------------------|
| ・中央：〔阪神〕 出屋敷・尼崎・大物 | ・小田：〔J R〕 尼崎 〔阪神〕 杭瀬 |
| ・大庄：〔阪神〕 武庫川・尼崎センタービル前 | ・立花：〔阪急〕 塚口 〔J R〕 立花 |
| ・武庫：〔阪急〕 武庫之荘 | ・園田：〔阪急〕 園田 〔J R〕 塚口・猪名寺 |

令和4年8月

都市政策課

目次

I	人口、世帯数.....	1
1	人口.....	1
2	世帯数及び1世帯当たり人員.....	2
3	年齢別人口.....	4
	(1) 年齢3区分別人口.....	4
	(2) 年齢3区分別人口割合.....	6
4	在留外国人の人口、世帯数.....	14
	(1) 人口.....	14
	(2) 世帯数及び1世帯当たり人員.....	15
II	人口動態.....	17
1	人口増減.....	17
2	自然動態.....	18
3	社会動態.....	20
4	単身世帯の社会動態.....	22
5	二人世帯の社会動態.....	25
6	三人以上世帯の社会動態.....	28
7	年齢別の移動数.....	32
	(1) 総数.....	32
	(2) 転入元・転出先別の移動数.....	32
III	ファミリー世帯の社会動態.....	37
1	社会増減.....	37
2	転入元・転出先別の移動数.....	40
3	町丁目別移動.....	41



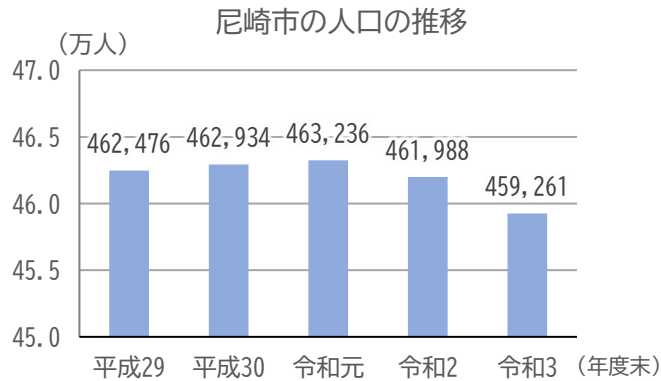
※本報告書掲載図では、人口減少数、転出数、転出超過数等にマイナス (-) の符号を付した。

I 人口、世帯数

1 人口

(1) 全市

令和3年度末（令和4年3月31日現在。以下、同様。）における尼崎市の人口は、2年連続で減少し、459,261人となった。最近5年間の推移をみると、平成29年度末より0.7%減少（▲3,215人）した。

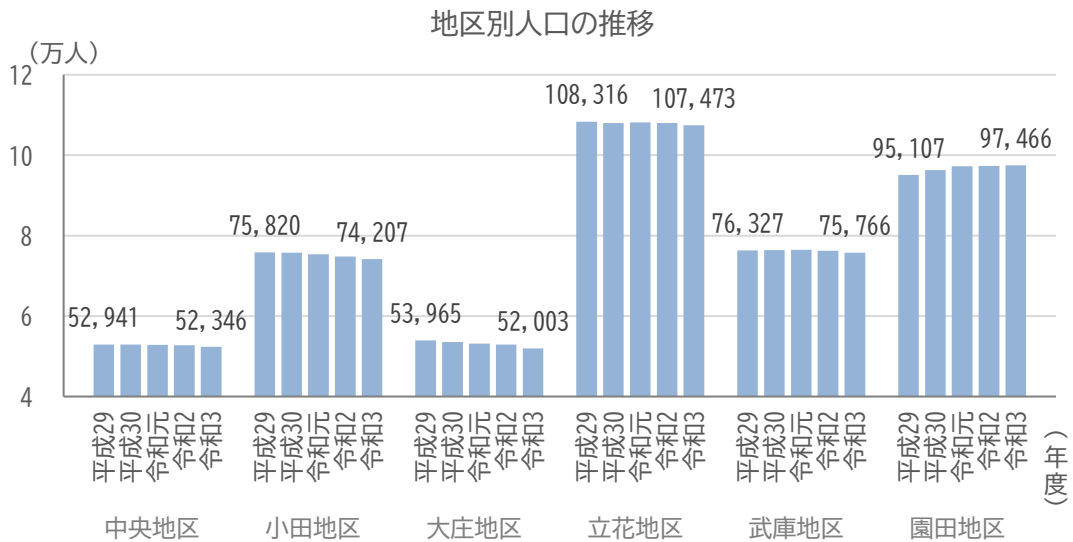


資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

(2) 地区別

令和3年度末における人口は、立花地区（107,473人）、園田地区（97,466人）、武庫地区（75,766人）の順で多く、北部3地区が南部3地区より多い。

最近5年間で人口が増加したのは園田地区で、平成29年度末より2.5%増加（2,359人）した。ほか5地区は減少し、このうち大庄地区は3.6%減少（▲1,962人）と、減少率が最も高い。



人口 (各年度末現在)

単位(人)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	変化(H29-R3年度)	
						実数	増加率
全 市	462,476	462,934	463,236	461,988	459,261	▲ 3,215	▲ 0.7%
中央地区	52,941	52,941	52,847	52,752	52,346	▲ 595	▲ 1.1%
小田地区	75,820	75,767	75,378	74,787	74,207	▲ 1,613	▲ 2.1%
大庄地区	53,965	53,561	53,147	52,891	52,003	▲ 1,962	▲ 3.6%
立花地区	108,316	108,007	108,129	107,996	107,473	▲ 843	▲ 0.8%
武庫地区	76,327	76,360	76,501	76,218	75,766	▲ 561	▲ 0.7%
園田地区	95,107	96,298	97,234	97,344	97,466	2,359	2.5%

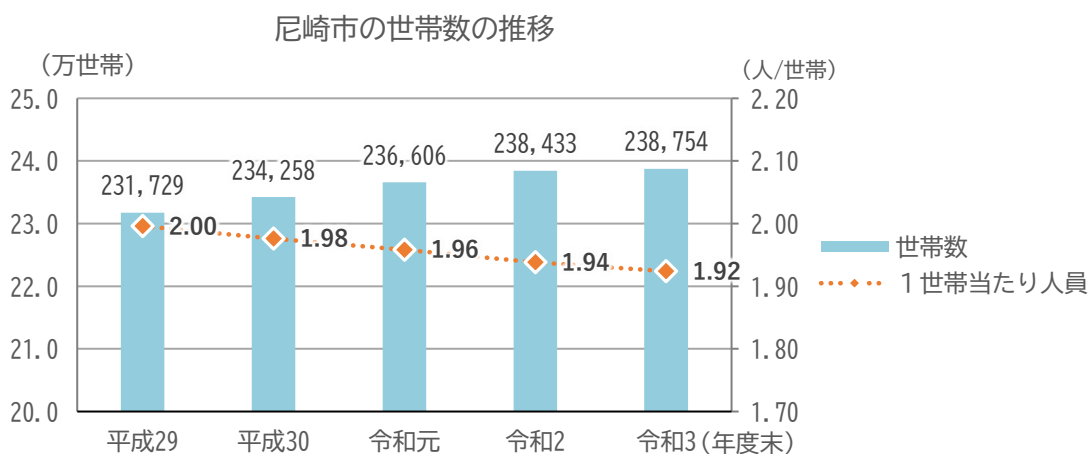
資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

2 世帯数及び1世帯当たり人員

(1) 全市

令和3年度末における尼崎市の世帯数は238,754世帯である。世帯数は増加が続いており、平成29年度末に比べ3.0%増加（7,025世帯）した。

1世帯当たり人員は1.92人となり、平成29年度末より0.08人減少している。



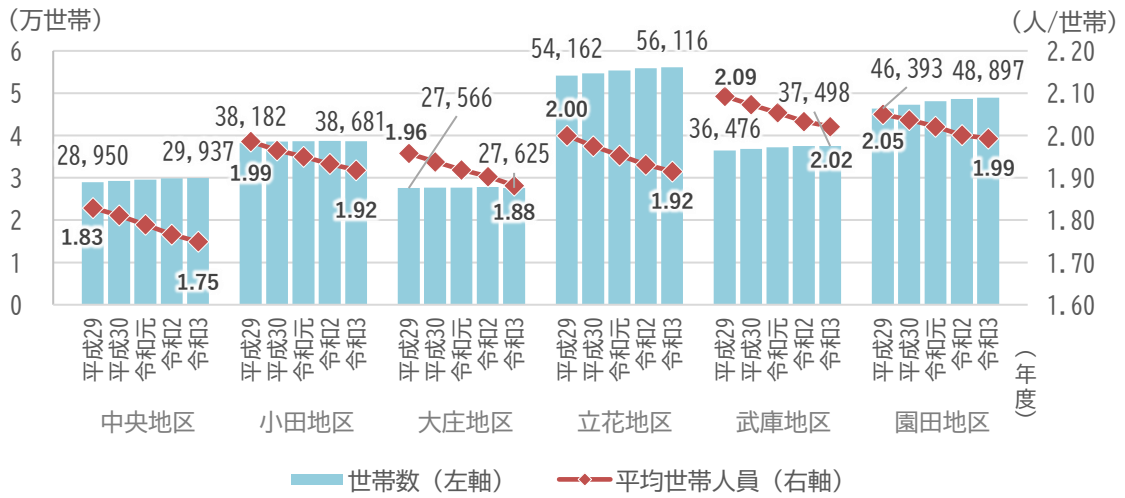
資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

(2) 地区別

令和3年度末における世帯数は、立花地区（56,116世帯）、園田地区（48,897世帯）、小田地区（38,681世帯）の順で多い。6地区とも、平成29年度末より世帯数が増加し、なかでも、園田地区が5.4%増加（2,504世帯）し、増加率が最も高い。

1世帯当たり人員は、6地区とも減少し、令和3年度末において、2.00人を上回ったのは武庫地区（2.02人/世帯）のみである。

世帯数及び1世帯当たり人員の推移



世帯数

(各年度未現在)

単位 (世帯)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	変化 (H29-R3年度)	
						実数	増加率
全 市	231,729	234,258	236,606	238,433	238,754	7,025	3.0%
中央地区	28,950	29,241	29,534	29,864	29,937	987	3.4%
小田地区	38,182	38,552	38,665	38,698	38,681	499	1.3%
大庄地区	27,566	27,643	27,697	27,789	27,625	59	0.2%
立花地区	54,162	54,699	55,359	55,928	56,116	1,954	3.6%
武庫地区	36,476	36,840	37,238	37,499	37,498	1,022	2.8%
園田地区	46,393	47,283	48,113	48,655	48,897	2,504	5.4%

資料：尼崎市の人口 (住民基本台帳人口)

1世帯当たり人員

(各年度未現在)

単位 (世帯)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	変化 H29-R3年度
全 市	2.00	1.98	1.96	1.94	1.92	▲ 0.08
中央地区	1.83	1.81	1.79	1.77	1.75	▲ 0.08
小田地区	1.99	1.97	1.95	1.93	1.92	▲ 0.07
大庄地区	1.96	1.94	1.92	1.90	1.88	▲ 0.08
立花地区	2.00	1.97	1.95	1.93	1.92	▲ 0.08
武庫地区	2.09	2.07	2.05	2.03	2.02	▲ 0.07
園田地区	2.05	2.04	2.02	2.00	1.99	▲ 0.06

資料：尼崎市の人口 (住民基本台帳人口)

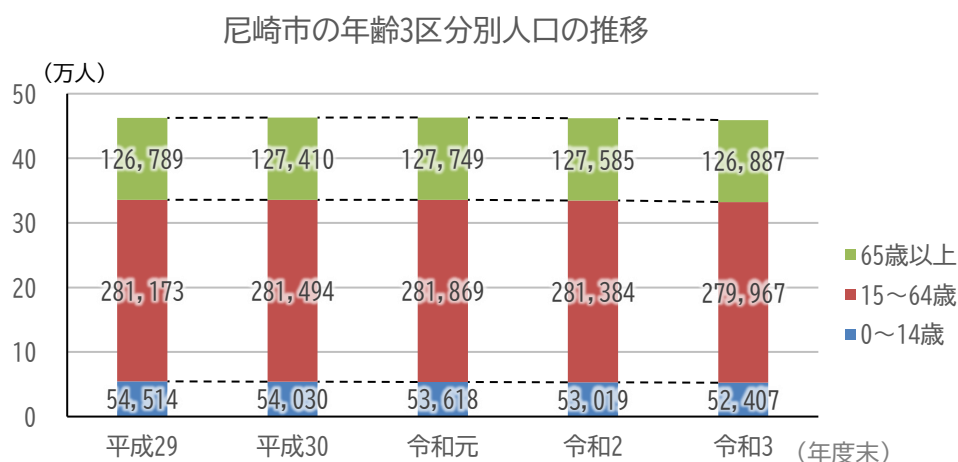
3 年齢別人口

(1) 年齢3区分別人口

①全市

令和3年度末における0～14歳人口は52,407人、15～64歳人口は279,967人、65歳以上人口は126,887人である。

最近の推移をみると、0～14歳人口は減少が続き、平成29年度末より3.9%減少（▲2,107人）した。15～64歳人口及び65歳以上人口は、令和元年度末まで増加したが、その後、減少に転じ、15～64歳人口は平成29年度末より0.4%減少（▲1,206人）、65歳以上人口は0.1%増加（98人）となった。



資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

②6 地区別

令和3年度末における0～14歳人口は、園田地区（12,558人）、立花地区（11,847人）、武庫地区（9,481人）の順が多い。最近5年間をみると、園田地区は増加が続き、令和元年に立花地区を抜いて最多となり、平成29年度より4.2%の増加（501人）となった。ほか5地区は減少し、特に、中央地区（9.8%減少、▲500人）、大庄地区（8.1%減少、▲470人）、立花地区（6.9%減少、▲874人）の減少率が高い。

15～64歳人口は、令和3年度末において、立花地区（66,165人）、園田地区（61,391人）、武庫地区（46,443人）の順が多い。最近5年間の推移をみると、園田地区は2.5%増加（1,501人）した。一方、ほか5地区は減少し、なかでも大庄地区は3.2%減少（▲981人）し、小田地区は2.0%減少（▲896人）と減少率が高い。

65歳以上人口は、令和3年度末において、立花地区（29,461人）、園田地区（23,517人）、小田地区（21,432人）の順が多い。最近5年間では、北部3地区が1%台の増加となったのに対して、南部3地区は減少となり、なかでも、大庄地区は3.0%の減少（▲511人）、小田地区は1.7%の減少（▲372人）と減少率が高い。

0～14歳人口 (各年度末現在)

単位 (人)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	変化 (H29-R3年度)	
						実数	増加率
全 市	54,514	54,030	53,618	53,019	52,407	▲ 2,107	▲ 3.9%
中央地区	5,112	5,028	4,896	4,755	4,612	▲ 500	▲ 9.8%
小田地区	8,935	8,888	8,820	8,738	8,590	▲ 345	▲ 3.9%
大庄地区	5,789	5,662	5,571	5,491	5,319	▲ 470	▲ 8.1%
立花地区	12,721	12,469	12,270	12,066	11,847	▲ 874	▲ 6.9%
武庫地区	9,900	9,751	9,679	9,555	9,481	▲ 419	▲ 4.2%
園田地区	12,057	12,232	12,382	12,414	12,558	501	4.2%

資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

15～64歳人口 (各年度末現在)

単位 (人)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	変化 (H29-R3年度)	
						実数	増加率
全 市	281,173	281,494	281,869	281,384	279,967	▲ 1,206	▲ 0.4%
中央地区	31,850	31,920	31,906	31,967	31,807	▲ 43	▲ 0.1%
小田地区	45,081	45,094	44,774	44,412	44,185	▲ 896	▲ 2.0%
大庄地区	30,957	30,692	30,504	30,486	29,976	▲ 981	▲ 3.2%
立花地区	66,450	66,153	66,345	66,381	66,165	▲ 285	▲ 0.4%
武庫地区	46,945	46,901	46,984	46,811	46,443	▲ 502	▲ 1.1%
園田地区	59,890	60,734	61,356	61,327	61,391	1,501	2.5%

資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

65歳以上人口 (各年度末現在)

単位 (人)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	変化 (H29-R3年度)	
						実数	増加率
全 市	126,789	127,410	127,749	127,585	126,887	98	0.1%
中央地区	15,979	15,993	16,045	16,030	15,927	▲ 52	▲ 0.3%
小田地区	21,804	21,785	21,784	21,637	21,432	▲ 372	▲ 1.7%
大庄地区	17,219	17,207	17,072	16,914	16,708	▲ 511	▲ 3.0%
立花地区	29,145	29,385	29,514	29,549	29,461	316	1.1%
武庫地区	19,482	19,708	19,838	19,852	19,842	360	1.8%
園田地区	23,160	23,332	23,496	23,603	23,517	357	1.5%

資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

(2) 年齢3区分別人口割合

① 全市

令和3年度末における年齢3区分別人口の割合をみると、平成29年度末に対し、0～14歳人口は0.4ポイント低下して11.4%、15～64歳人口は0.2ポイント上昇して61.0%、65歳以上人口は0.2ポイント上昇して27.6%となった。

② 6地区別

令和3年度末における0～14歳人口の割合をみると、園田地区（12.9%）、武庫地区（12.5%）、小田地区（11.6%）の順に高く、一方、中央地区（8.8%）は1割を下回る。

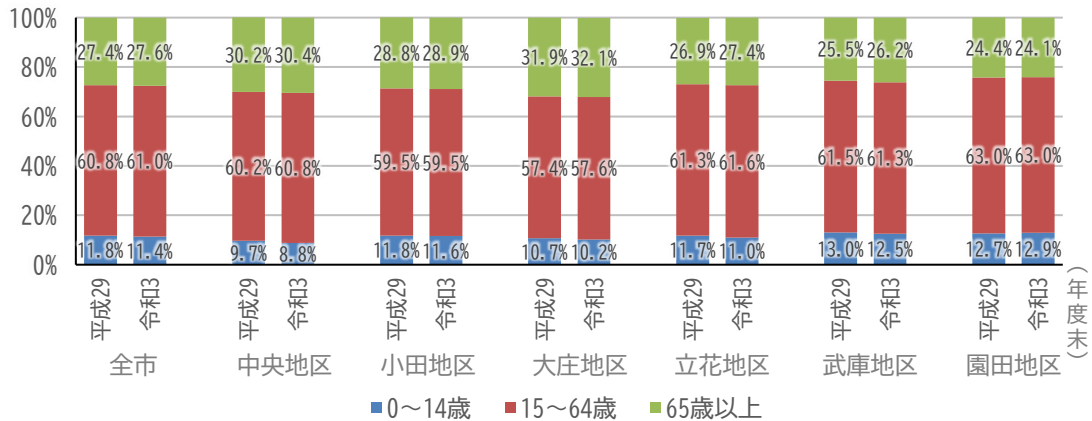
15～64歳人口では、園田地区（63.0%）、立花地区（61.6%）、武庫地区（61.3%）と、北部3地区が、南部3地区より高い。

65歳以上人口では、大庄地区（32.1%）、中央地区（30.4%）、小田地区（28.9%）と、南部3地区で高く、特に、大庄地区、中央地区は3割を超えている。

最近5年間の変化をみると、園田地区では、6地区で唯一、0～14歳人口の割合が上昇

し(0.2ポイント)、65歳以上人口の割合が低下(▲0.3ポイント)した。これに対して、武庫地区、立花地区、大庄地区では、0~14歳人口の割合が0.5~0.7ポイント低下し、65歳以上人口の割合が0.2~0.7ポイント上昇した。また、中央地区は、0~14歳人口の割合が0.9ポイントと6地区で最も低下し、15~64歳人口は0.6ポイントと最も上昇した。

年齢3区分別人口の割合の推移

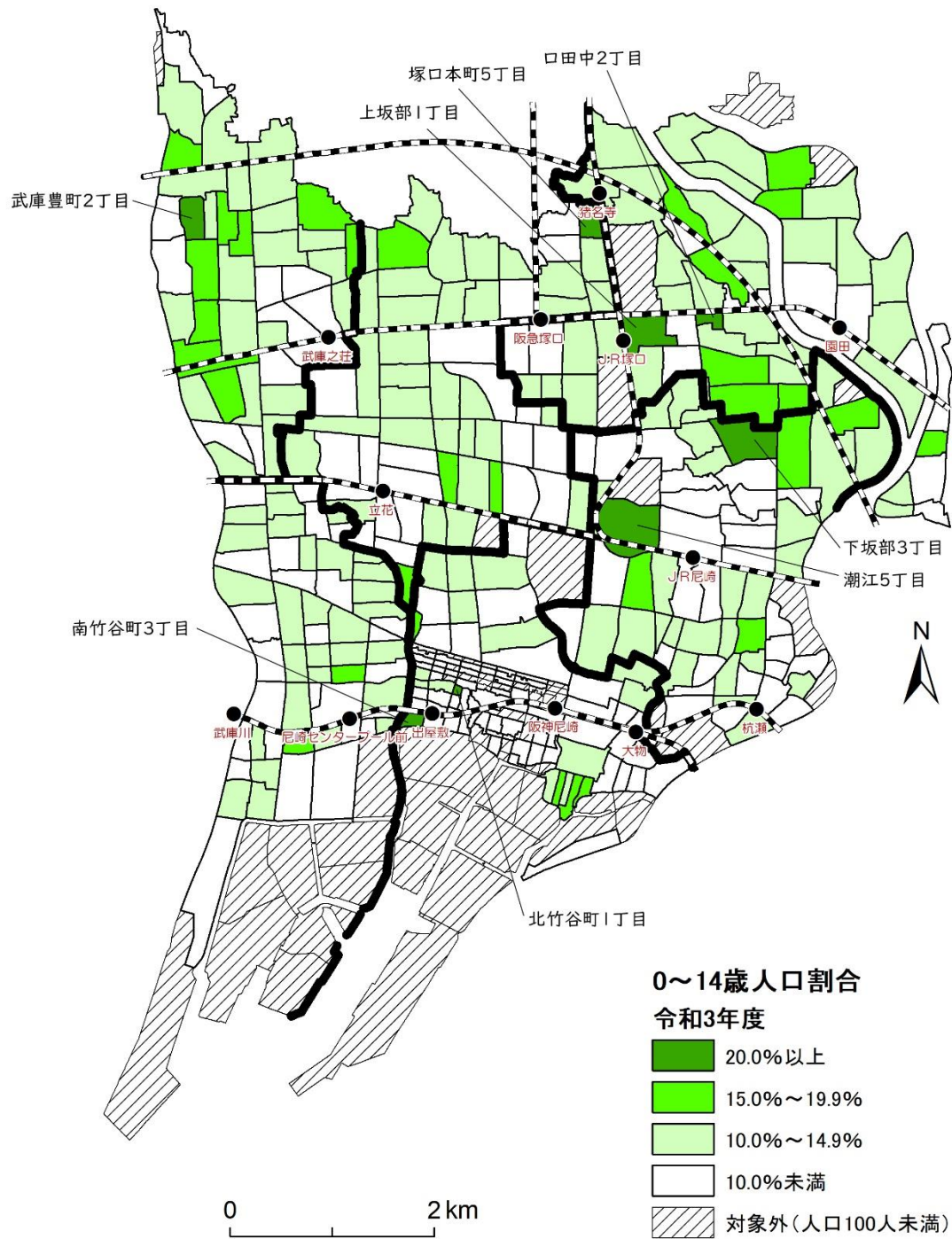


資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

年齢3区分別人口の割合

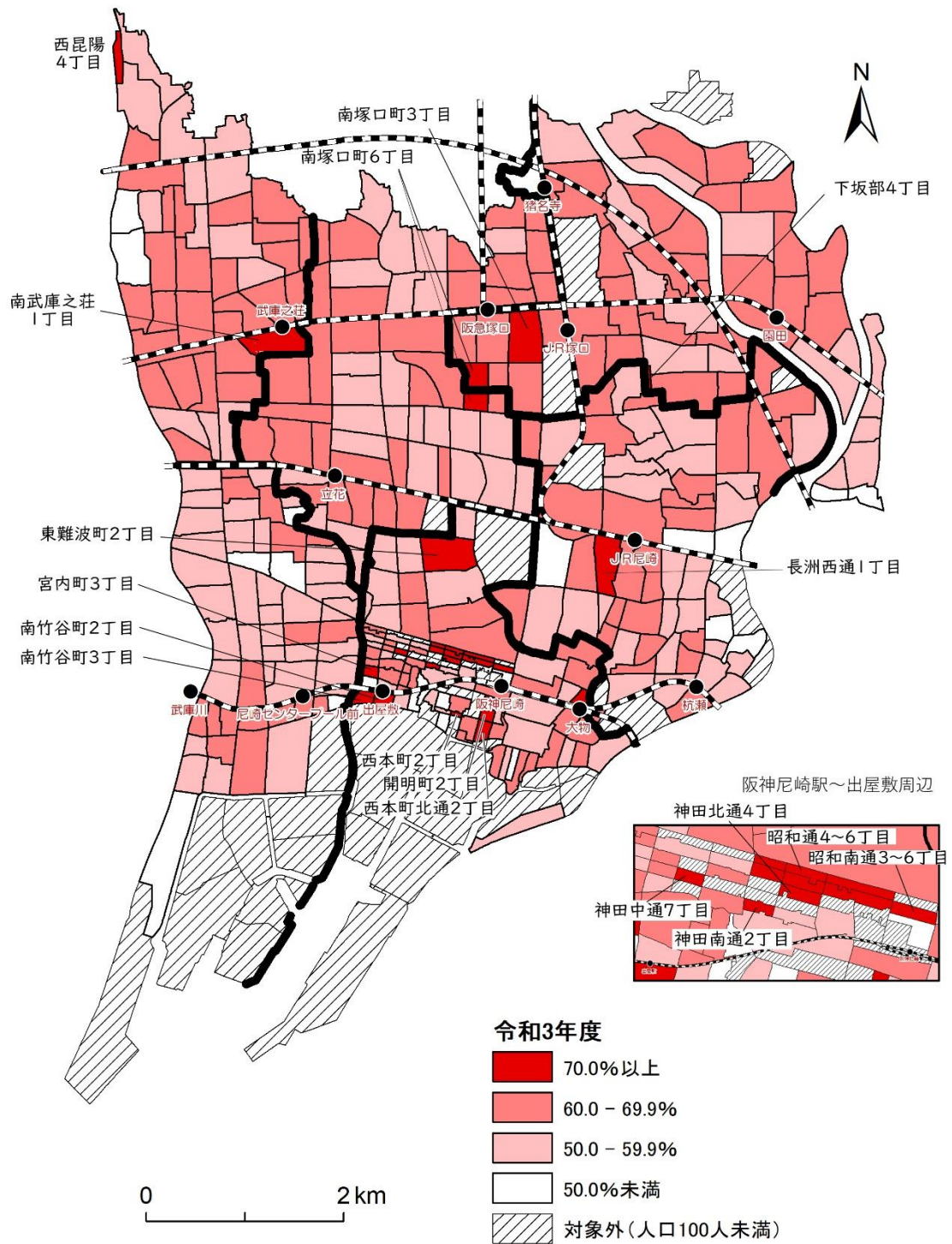
		0~14歳	15~64歳	65歳以上			0~14歳	15~64歳	65歳以上
全市	平成29年度	11.8%	60.8%	27.4%	立花地区	平成29年度	11.7%	61.3%	26.9%
	平成30年度	11.7%	60.8%	27.5%		平成30年度	11.5%	61.2%	27.2%
	令和元年度	11.6%	60.8%	27.6%		令和元年度	11.3%	61.4%	27.3%
	令和2年度	11.5%	60.9%	27.6%		令和2年度	11.2%	61.5%	27.4%
	令和3年度	11.4%	61.0%	27.6%		令和3年度	11.0%	61.6%	27.4%
	割合の変化*	▲0.4	0.2	0.2		割合の変化*	▲0.7	0.3	0.5
中央地区	平成29年度	9.7%	60.2%	30.2%	武庫地区	平成29年度	13.0%	61.5%	25.5%
	平成30年度	9.5%	60.3%	30.2%		平成30年度	12.8%	61.4%	25.8%
	令和元年度	9.3%	60.4%	30.4%		令和元年度	12.7%	61.4%	25.9%
	令和2年度	9.0%	60.6%	30.4%		令和2年度	12.5%	61.4%	26.0%
	令和3年度	8.8%	60.8%	30.4%		令和3年度	12.5%	61.3%	26.2%
	割合の変化*	▲0.9	0.6	0.2		割合の変化*	▲0.5	▲0.2	0.7
小田地区	平成29年度	11.8%	59.5%	28.8%	園田地区	平成29年度	12.7%	63.0%	24.4%
	平成30年度	11.7%	59.5%	28.8%		平成30年度	12.7%	63.1%	24.2%
	令和元年度	11.7%	59.4%	28.9%		令和元年度	12.7%	63.1%	24.2%
	令和2年度	11.7%	59.4%	28.9%		令和2年度	12.8%	63.0%	24.2%
	令和3年度	11.6%	59.5%	28.9%		令和3年度	12.9%	63.0%	24.1%
	割合の変化*	▲0.2	0.0	0.1		割合の変化*	0.2	0.0	▲0.3
大庄地区	平成29年度	10.7%	57.4%	31.9%	資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）				
	平成30年度	10.6%	57.3%	32.1%	(注)各年度未現在。				
	令和元年度	10.5%	57.4%	32.1%	割合の変化は、令和3年度から平成29年度を引いた差。				
	令和2年度	10.4%	57.6%	32.0%					
	令和3年度	10.2%	57.6%	32.1%					
	割合の変化*	▲0.5	0.2	0.2					

町丁目別 0～14歳人口割合（令和3年度末）



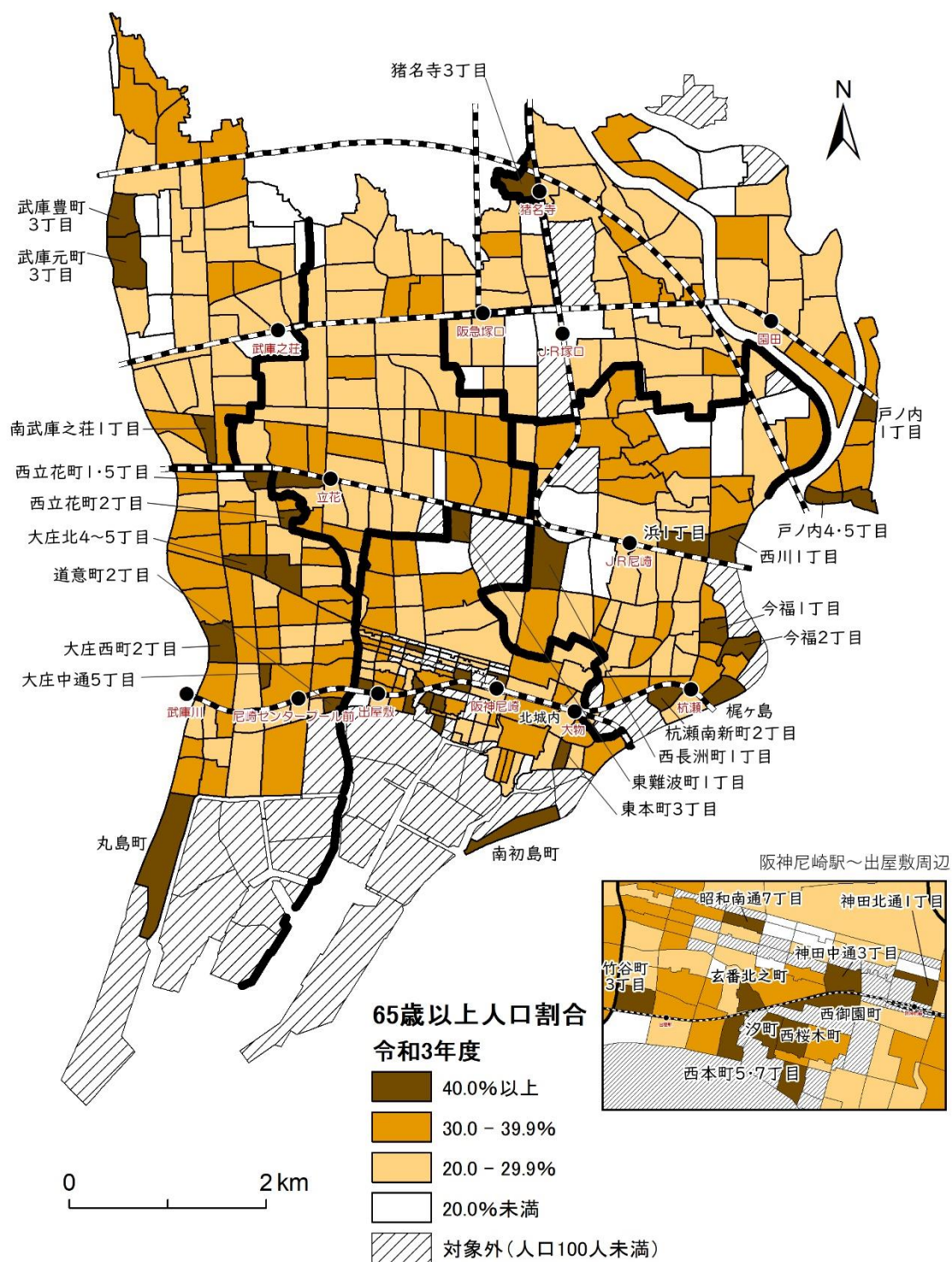
資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

町丁目別 15～64歳人口割合（令和3年度末）



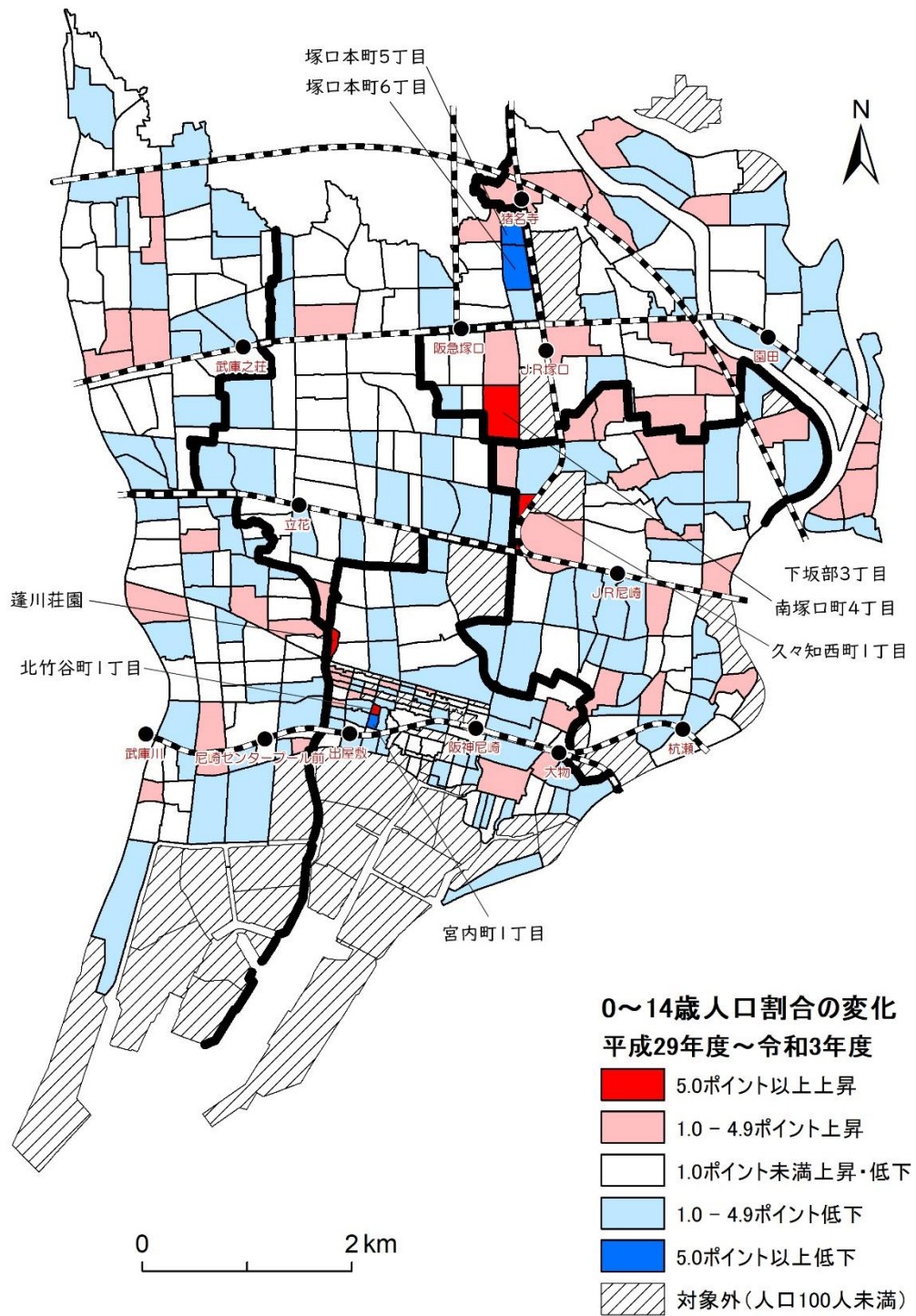
資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

町丁目別 65歳以上人口割合（令和3年度末）



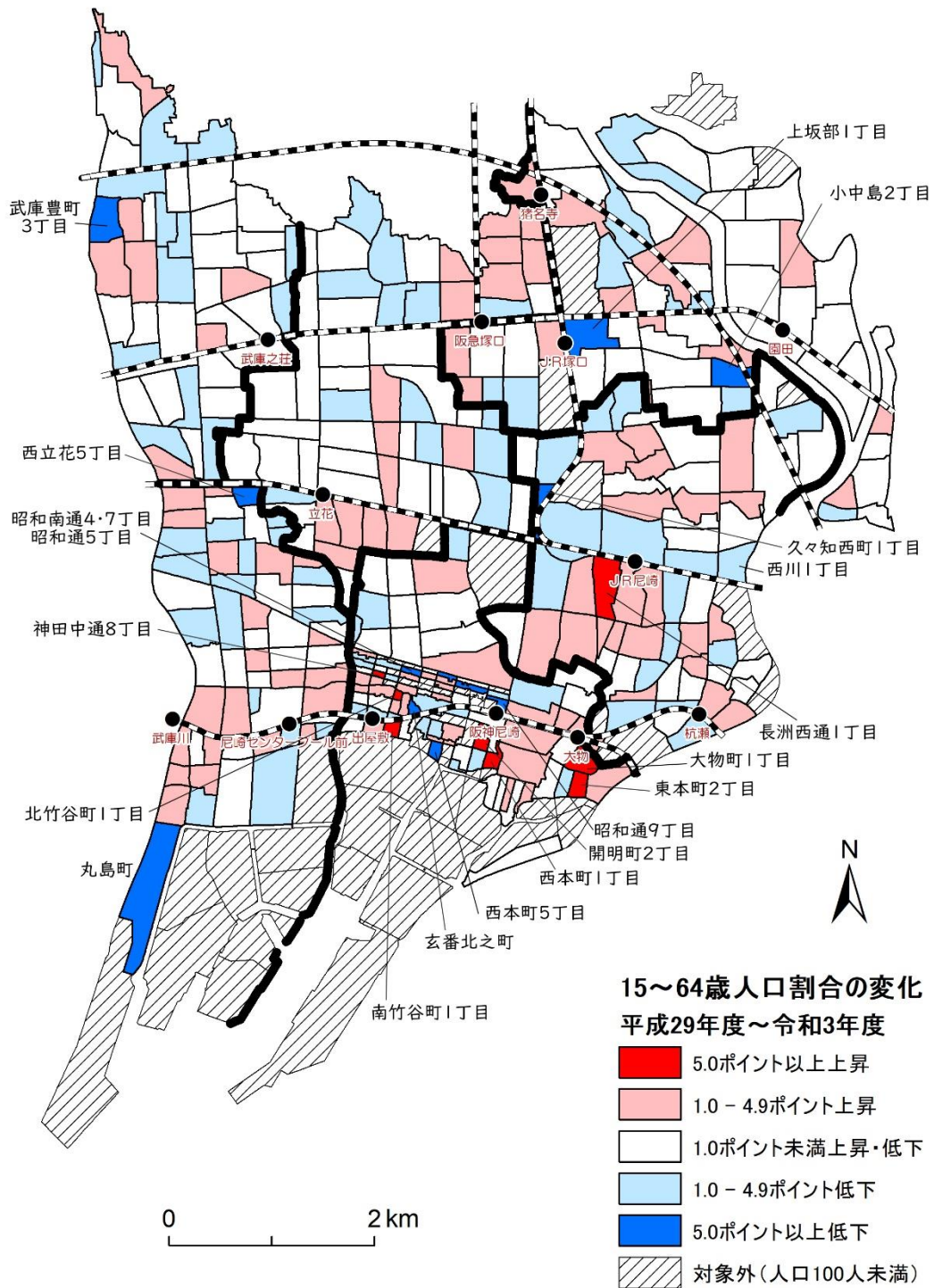
資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

町丁目別 0～14歳人口割合の変化（平成29～令和3年度末）



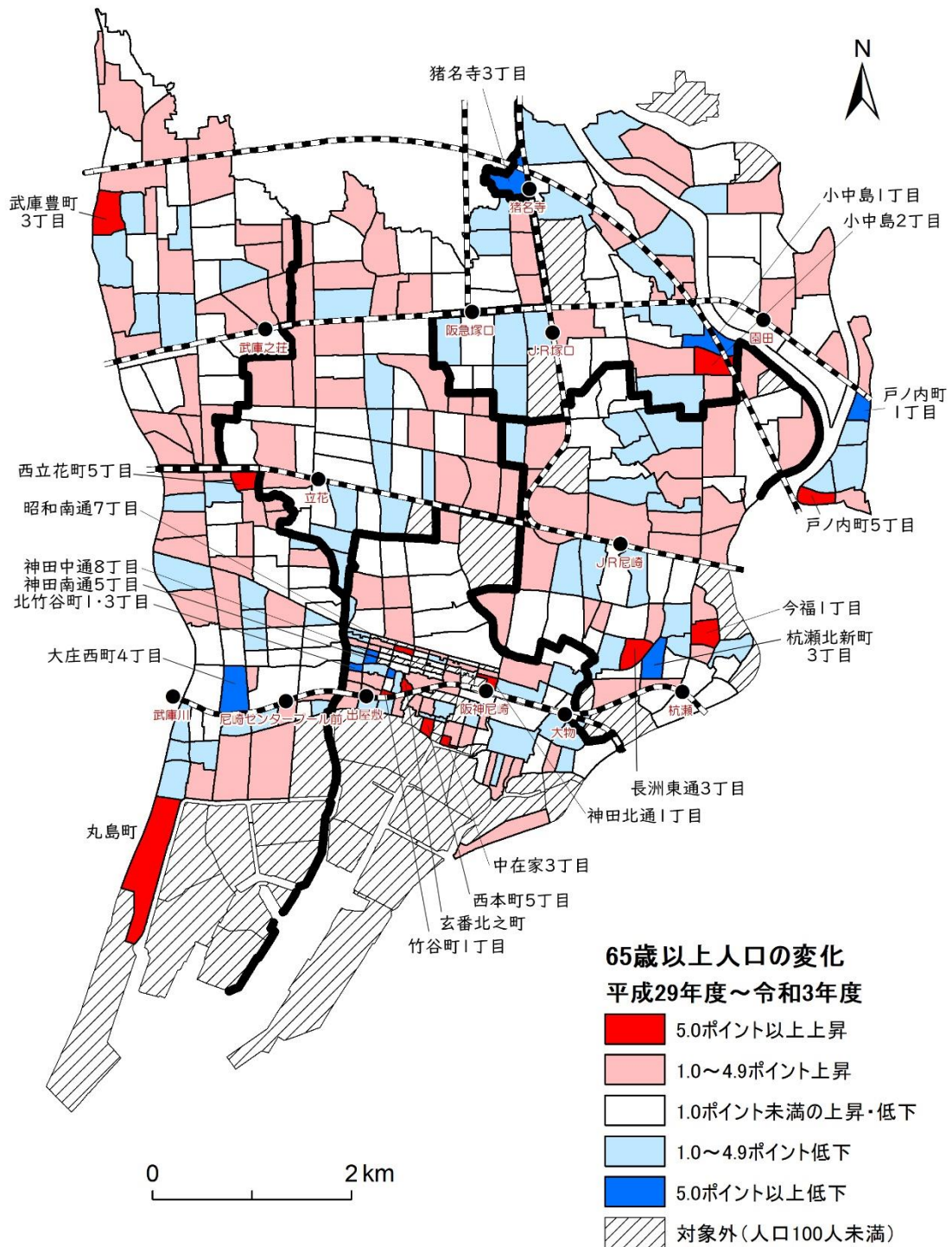
資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

町丁目別 15～64歳人口割合の変化（平成29～令和3年度末）



資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

町丁目別 65歳以上人口割合の変化（平成29～令和3年度末）



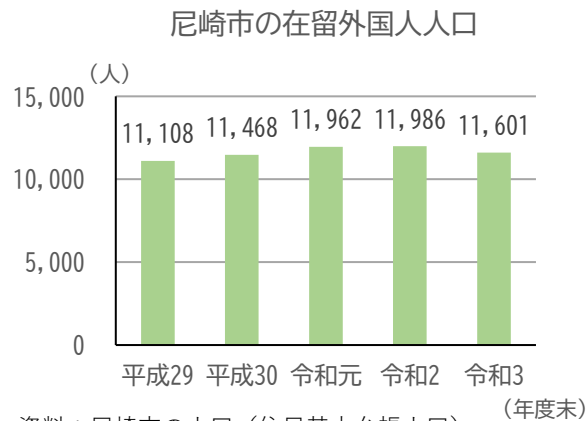
資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

4 在留外国人の人口、世帯数

(1) 人口

①全市

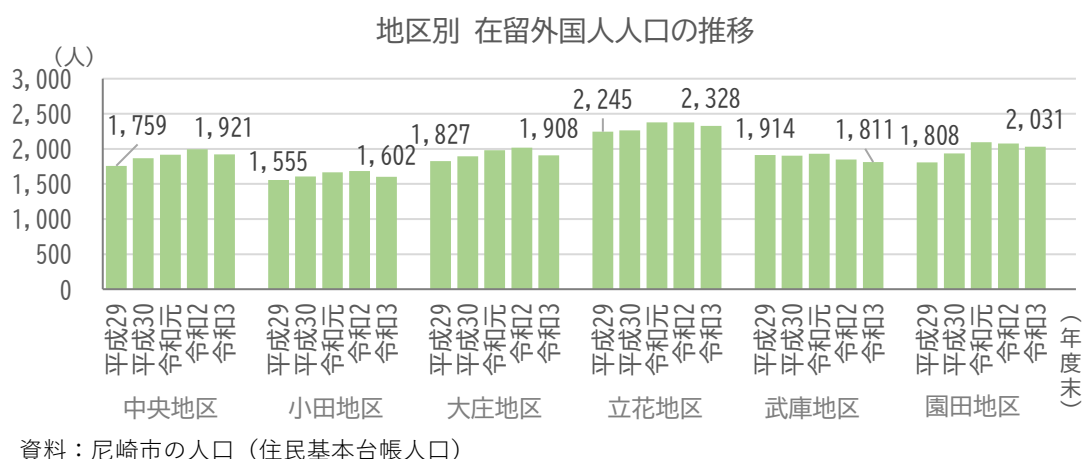
令和3年度末における在留外国人人口は、11,601人である。前年より385人減少したが、平成29年度末と比べると4.4%の増加（493人）となった。



②6地区別

令和3年度末における人口は、立花地区（2,328人）、園田地区（2,031人）、中央地区（1,921人）の順が多い。

最近5年間の推移をみると、6地区とも令和2～3年度末にかけて減少に転じたものの、平成29年度末と比べると、武庫地区をのぞく5地区で増加となった。なかでも、園田地区は12.3%増加（223人）、中央地区は9.2%増加（162人）と、増加率が高い。



単位（人）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	変化（H29-R3年度）	
						実数	増加率
全 市	11,108	11,468	11,962	11,986	11,601	493	4.4%
中央地区	1,759	1,866	1,918	1,992	1,921	162	9.2%
小田地区	1,555	1,605	1,665	1,682	1,602	47	3.0%
大庄地区	1,827	1,895	1,979	2,016	1,908	81	4.4%
立花地区	2,245	2,263	2,378	2,375	2,328	83	3.7%
武庫地区	1,914	1,905	1,928	1,846	1,811	▲ 103	▲ 5.4%
園田地区	1,808	1,934	2,094	2,075	2,031	223	12.3%

資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

(2) 世帯数及び1世帯当たり人員

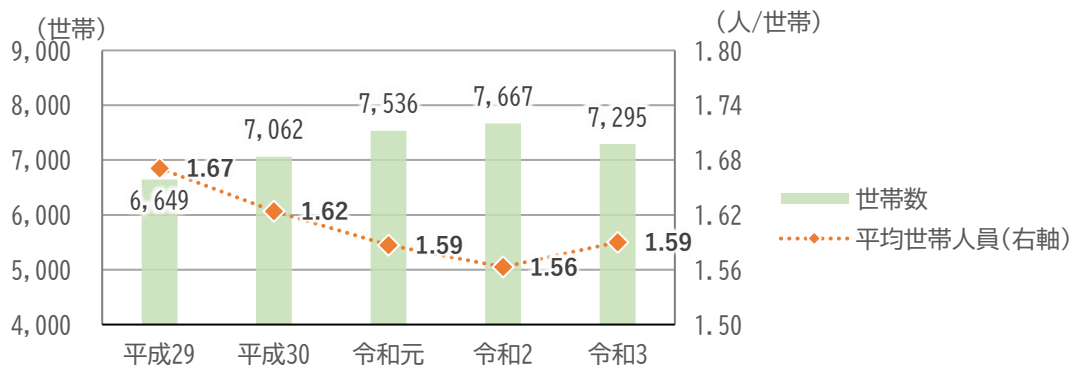
①全市

令和3年度末における在留外国人世帯数は7,295世帯である。

在留外国人の世帯数も増加が続き、令和3年度末に減少に転じたものの、平成29年度末に比べ9.7%増加（646世帯）している。

1世帯当たり人員は、令和3年度末で1.59人と、平成29年度末より0.08人減少した。

在留外国人世帯数及び1世帯当たり人員



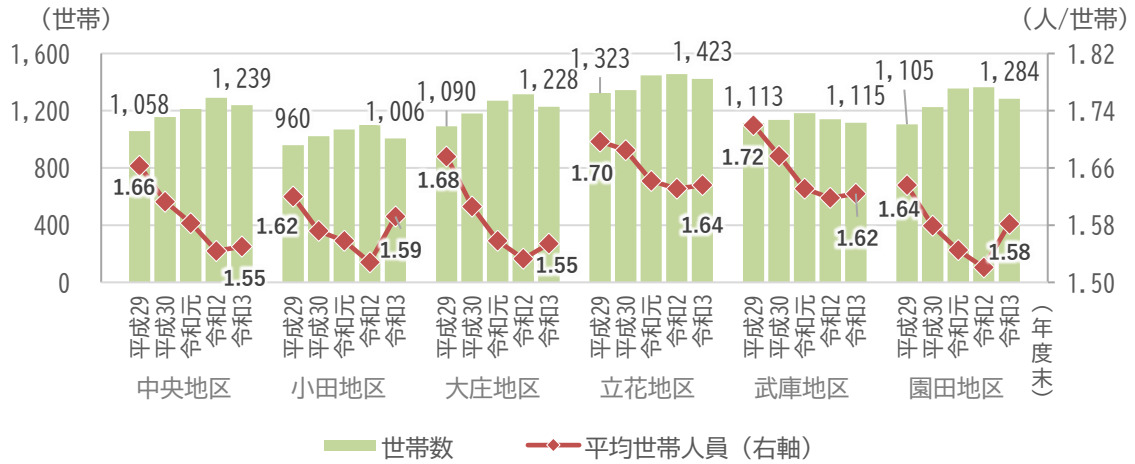
資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

②6地区別

令和3年度末の世帯数は、立花地区（1,423世帯）、園田地区（1,284世帯）、中央地区（1,239世帯）の順が多い。最近5年間の推移をみると、6地区とも令和2～3年度末に減少に転じたものの、平成29年度末に比べると増加している。なかでも、中央地区では17.1%増加（181世帯）、園田地区では16.2%増加（179世帯）、大庄地区では12.7%増加（138世帯）と、1割以上の増加となった。

1世帯当たり人員は、立花地区（1.64人）、武庫地区（1.62人）、小田地区（1.59人）の順が高い。最近5年間の推移をみると、6地区とも減少が続いていたが、令和3年度末は増加している。

地区別 世帯数及び1世帯当たり人員



在留外国人世帯数

(各年度未現在)

単位 (世帯)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	変化 (H29-R3年度)	
						実数	増加率
全 市	6,649	7,062	7,536	7,667	7,295	646	9.7%
中央地区	1,058	1,157	1,212	1,290	1,239	181	17.1%
小田地区	960	1,021	1,069	1,101	1,006	46	4.8%
大庄地区	1,090	1,180	1,270	1,315	1,228	138	12.7%
立花地区	1,323	1,343	1,448	1,456	1,423	100	7.6%
武庫地区	1,113	1,136	1,182	1,141	1,115	2	0.2%
園田地区	1,105	1,225	1,355	1,364	1,284	179	16.2%

資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

在留外国人1世帯当たり人員

(各年度未現在)

単位 (世帯)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	変化 H29-R3年度
全 市	1.67	1.62	1.59	1.56	1.59	▲ 0.08
中央地区	1.66	1.61	1.58	1.54	1.55	▲ 0.11
小田地区	1.62	1.57	1.56	1.53	1.59	▲ 0.03
大庄地区	1.68	1.61	1.56	1.53	1.55	▲ 0.13
立花地区	1.70	1.69	1.64	1.63	1.64	▲ 0.06
武庫地区	1.72	1.68	1.63	1.62	1.62	▲ 0.10
園田地区	1.64	1.58	1.55	1.52	1.58	▲ 0.06

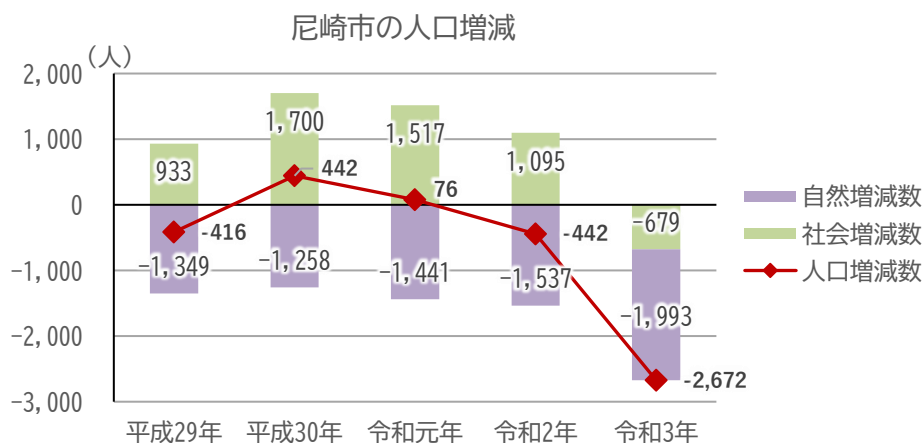
資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

II 人口動態

1 人口増減

(1) 全市

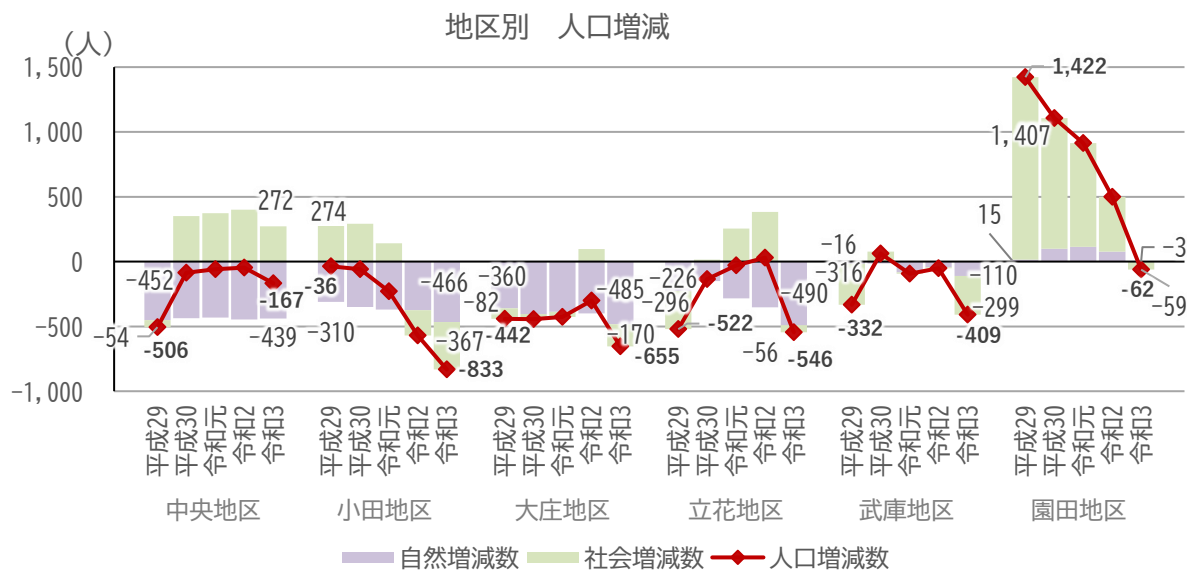
尼崎市の令和3年（暦年1年間。以下同様。）の人口増減は2,672人の減少となった。人口増減の推移をみると、令和2年に自然減が社会増を上回って減少となり、令和3年は社会増減も減少に転じ、人口減少数は前年（▲442人）の約6倍に達した。



(2) 地区別

令和3年は6地区とも人口減少となり、小田地区（▲833人）、大庄地区（▲655人）、立花地区（▲546人）の順で減少数が多い。

最近5年間の推移をみると、平成29年には1,422人も増加となった園田地区は、増加数の縮小が続き、令和3年には減少に転じた。小田地区は減少数の拡大が続いている。ほか4地区は、人口減少に歯止めがかかるかに見えたが、令和3年は減少数が拡大している。



単位(人)	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全 市	▲ 416	442	76	▲ 442	▲ 2,672
中央地区	▲ 506	▲ 87	▲ 58	▲ 46	▲ 167
小田地区	▲ 36	▲ 59	▲ 230	▲ 571	▲ 833
大庄地区	▲ 442	▲ 445	▲ 426	▲ 302	▲ 655
立花地区	▲ 522	▲ 135	▲ 30	29	▲ 546
武庫地区	▲ 332	62	▲ 93	▲ 51	▲ 409
園田地区	1,422	1,106	913	499	▲ 62

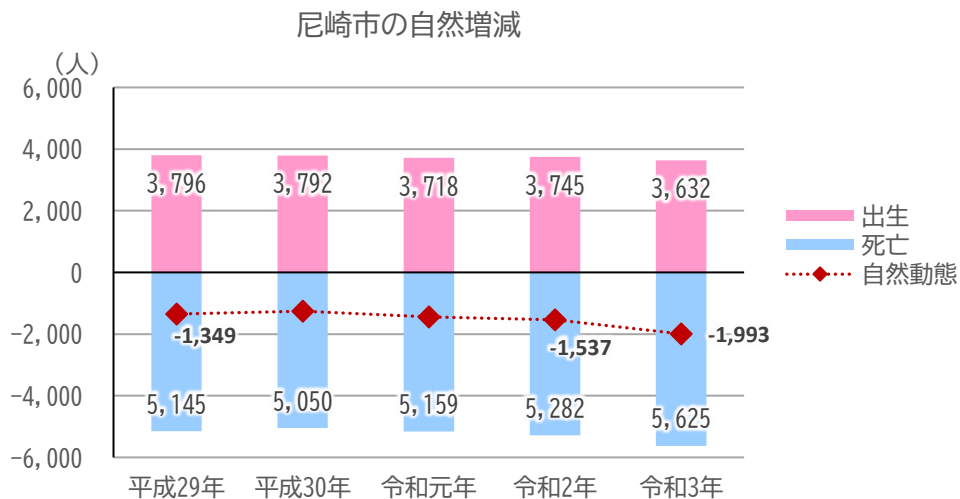
資料：尼崎市人口月報

2 自然動態

(1) 全市

尼崎市の出生数は3,700人台で推移していたが、令和3年は前年より3.0%減少(▲113人)して3,632人となった。死亡数は、平成30年以降増加が続き、令和3年は前年より6.5%増加(343人)して5,625人となった。

そのため、令和3年は1,993人の自然減となり、減少数は、前年より29.7%拡大(456人)した。

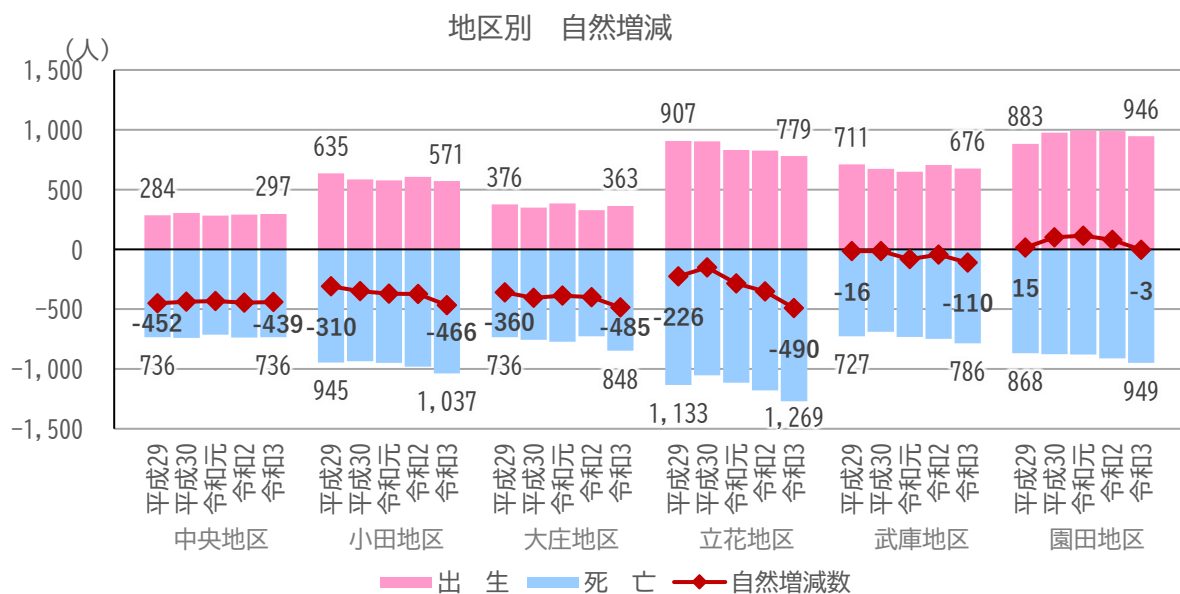


(2) 地区別

令和3年の出生数は、園田地区(946人)、立花地区(779人)、武庫地区(676人)の順となり、北部3地区が多い。死亡数は、立花地区(1,269人)、小田地区(1,037人)、園田地区(949人)の順で多い。

令和3年は6地区とも自然減となり、減少数は、立花地区(▲490人)が最も多く、中央地区、小田地区、大庄地区も400人を超えている。

最近5年間の推移をみると、園田地区は出生数と死亡数がおおむね均衡している様子が見える。そのほか5地区は自然減が続き、なかでも、立花地区、小田地区、武庫地区は減少数が拡大する傾向が見える。



出生数

単位 (人)	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全 市	3,796	3,792	3,718	3,745	3,632
中央地区	284	304	281	291	297
小田地区	635	586	578	606	571
大庄地区	376	350	384	327	363
立花地区	907	902	831	825	779
武庫地区	711	674	650	706	676
園田地区	883	976	994	990	946

資料：尼崎市人口月報

死亡数

単位 (人)	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全 市	5,145	5,050	5,159	5,282	5,625
中央地区	736	741	713	737	736
小田地区	945	936	948	980	1,037
大庄地区	736	755	771	726	848
立花地区	1,133	1,052	1,115	1,178	1,269
武庫地区	727	689	733	749	786
園田地区	868	877	879	912	949

資料：尼崎市人口月報

自然増減数 (出生数-死亡数)

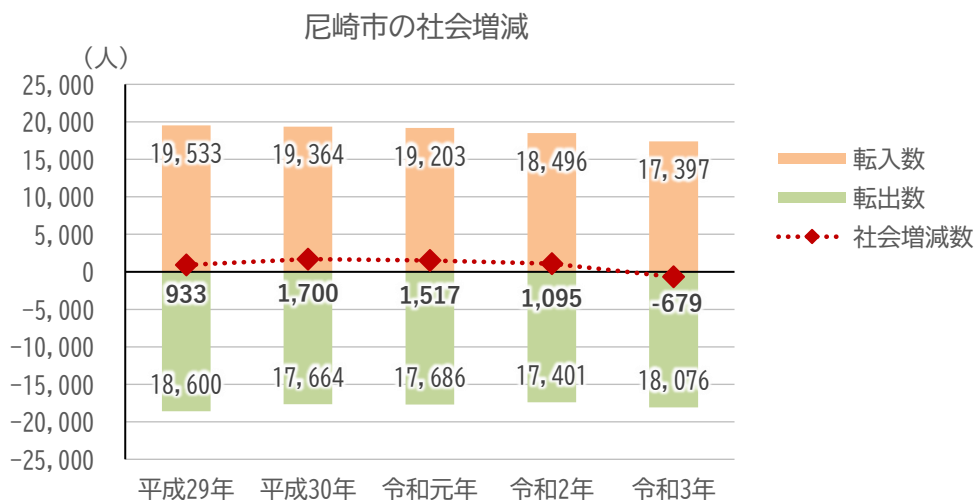
単位 (人)	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全 市	▲ 1,349	▲ 1,258	▲ 1,441	▲ 1,537	▲ 1,993
中央地区	▲ 452	▲ 437	▲ 432	▲ 446	▲ 439
小田地区	▲ 310	▲ 350	▲ 370	▲ 374	▲ 466
大庄地区	▲ 360	▲ 405	▲ 387	▲ 399	▲ 485
立花地区	▲ 226	▲ 150	▲ 284	▲ 353	▲ 490
武庫地区	▲ 16	▲ 15	▲ 83	▲ 43	▲ 110
園田地区	15	99	115	78	▲ 3

資料：尼崎市人口月報

3 社会動態

(1) 全市

転入数は、最近5年間は減少傾向にあり、令和3年は前年より5.9%減少（▲1,099人）して17,397人となった。転出数も減少傾向にあったものの、令和3年は3.9%増加（675人）して18,076人と転入数を上回った。そのため、令和3年は679人の社会減となった。

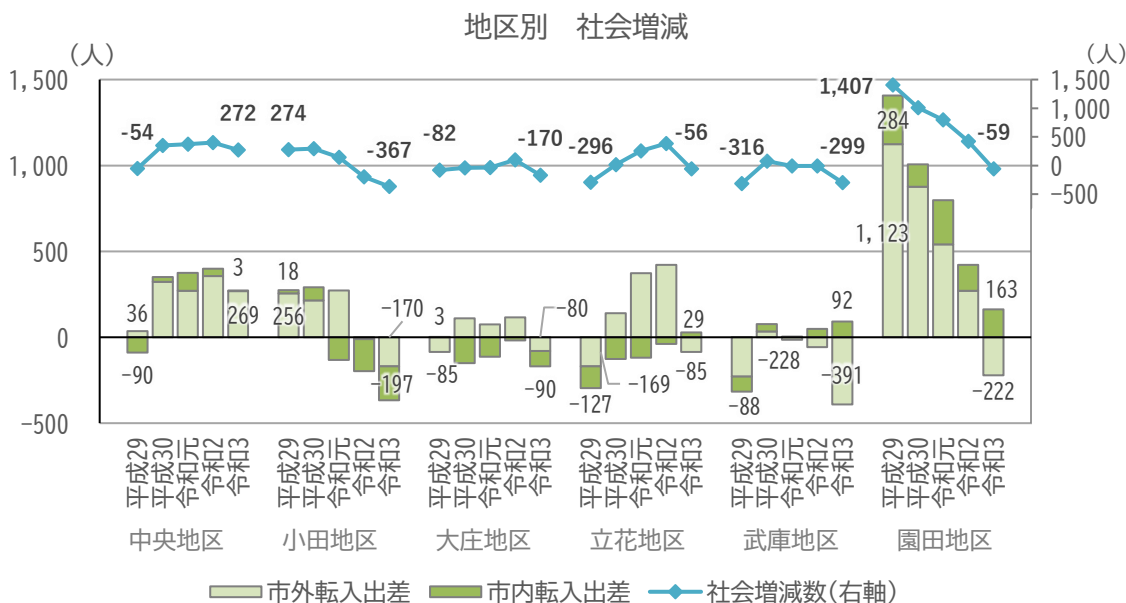


(2) 地区別

① 社会増減

令和3年は、中央地区のみ社会増（272人）、ほか5地区は社会減となった。減少数は小田地区（▲367人）が最も大きく、以下、武庫地区（▲299人）、大庄地区（▲170人）の順で多い。

また、増減の内訳について、転入元・転出先の市外・市内別にみると、中央地区は、市外・市内からの転入超過、小田地区、大庄地区は、市外・市内への転出超過、北部3地区は市外へは転出超過、市内からは転入超過となっている。

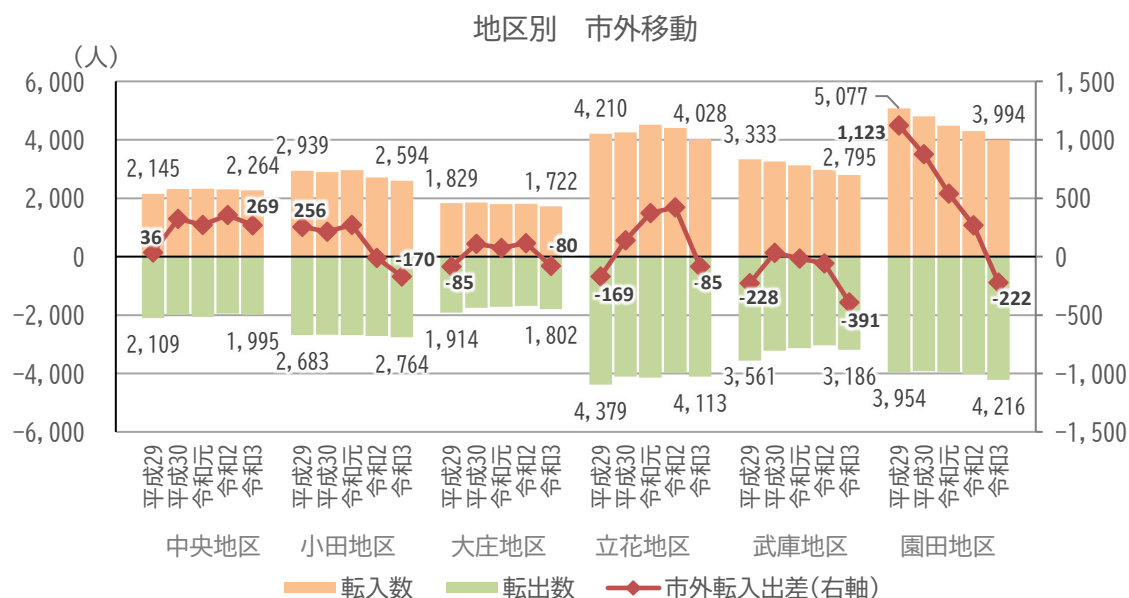


②市外移動

市外間の移動についてみると、令和3年の転入数は、立花地区（4,028人）、園田地区（3,994人）、武庫地区（2,795人）の順で多い。一方、最近5年間の推移をみると、転入数は、園田地区や武庫地区では減少が続き、平成29年に比べ、園田地区は21.3%減少（▲1,083人）、武庫地区は16.1%減少（▲538人）している。ほか4地区でも、令和2～3年頃より転入数が減少している。

転出数は、令和3年は、園田地区（4,216人）、立花地区（4,113人）、武庫地区（3,186人）の順で多い。最近5年間の推移をみると、園田地区、小田地区をのぞく4地区で減少傾向にあったが、令和3年には6地区とも増加している。

市外転入出差の推移をみると、中央地区は転入超過が続き、令和3年は269人の超過となった。園田地区、小田地区は、転入超過から転出超過へ転じている。ほか3地区は、平成30年に転入超過に転じたが、令和3年にはともに転出超過となっている。



転入数

単位 (人)	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化 (H29-R3)	
						実数	増加率
全 市	19,533	19,364	19,203	18,496	17,397	▲ 2,136	▲ 10.9%
中央地区	2,145	2,316	2,327	2,306	2,264	119	5.5%
小田地区	2,939	2,893	2,961	2,703	2,594	▲ 345	▲ 11.7%
大庄地区	1,829	1,858	1,799	1,807	1,722	▲ 107	▲ 5.9%
立花地区	4,210	4,248	4,514	4,409	4,028	▲ 182	▲ 4.3%
武庫地区	3,333	3,252	3,119	2,975	2,795	▲ 538	▲ 16.1%
園田地区	5,077	4,797	4,483	4,296	3,994	▲ 1,083	▲ 21.3%

転出数

単位 (人)	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化 (H29-R3)	
						実数	増加率
全 市	18,600	17,664	17,686	17,401	18,076	▲ 524	▲ 2.8%
中央地区	2,109	1,993	2,056	1,950	1,995	▲ 114	▲ 5.4%
小田地区	2,683	2,678	2,689	2,714	2,764	81	3.0%
大庄地区	1,914	1,748	1,724	1,691	1,802	▲ 112	▲ 5.9%
立花地区	4,379	4,107	4,141	3,988	4,113	▲ 266	▲ 6.1%
武庫地区	3,561	3,218	3,134	3,032	3,186	▲ 375	▲ 10.5%
園田地区	3,954	3,920	3,942	4,026	4,216	262	6.6%

市外転入出差（転入数－転出数）

単位（人）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化 (H29-R3)
全 市	933	1,700	1,517	1,095	▲ 679	▲ 1,612
中央地区	36	323	271	356	269	233
小田地区	256	215	272	▲ 11	▲ 170	▲ 426
大庄地区	▲ 85	110	75	116	▲ 80	5
立花地区	▲ 169	141	373	421	▲ 85	84
武庫地区	▲ 228	34	▲ 15	▲ 57	▲ 391	▲ 163
園田地区	1,123	877	541	270	▲ 222	▲ 1,345

市内転入出差

単位（人）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化 (H29-R3)
全 市	0	0	0	0	0	0
中央地区	▲ 90	27	103	44	3	93
小田地区	18	76	▲ 132	▲ 186	▲ 197	▲ 215
大庄地区	3	▲ 150	▲ 114	▲ 19	▲ 90	▲ 93
立花地区	▲ 127	▲ 126	▲ 119	▲ 39	29	156
武庫地区	▲ 88	43	5	49	92	180
園田地区	284	130	257	151	163	▲ 121

社会増減数（市外転入出差+市内転入出差）

単位（人）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化 (H29-R3)
全 市	933	1,700	1,517	1,095	▲ 679	▲ 1,612
中央地区	▲ 54	350	374	400	272	326
小田地区	274	291	140	▲ 197	▲ 367	▲ 641
大庄地区	▲ 82	▲ 40	▲ 39	97	▲ 170	▲ 88
立花地区	▲ 296	15	254	382	▲ 56	240
武庫地区	▲ 316	77	▲ 10	▲ 8	▲ 299	17
園田地区	1,407	1,007	798	421	▲ 59	▲ 1,466

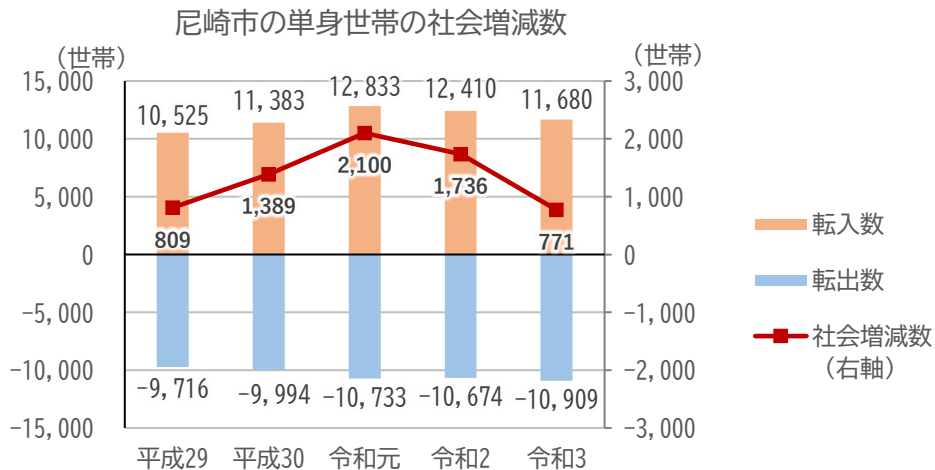
資料：尼崎市人口月報

4 単身世帯の社会動態

(1) 全市

転入数は、最近5年間の推移をみると、令和元年にかけて増加したが、令和3年には前年より5.9%減少（730世帯）して11,680世帯となり、2年連続で減少した。転出数も増加傾向にあり、令和3年は前年より2.2%増加（235世帯）して10,909世帯となった。

転入出を差し引きした社会増減をみると、ここ5年は社会増が続いているが、増加数は平成30年の2,100世帯をピークに縮小しており、令和3年は771世帯となった。

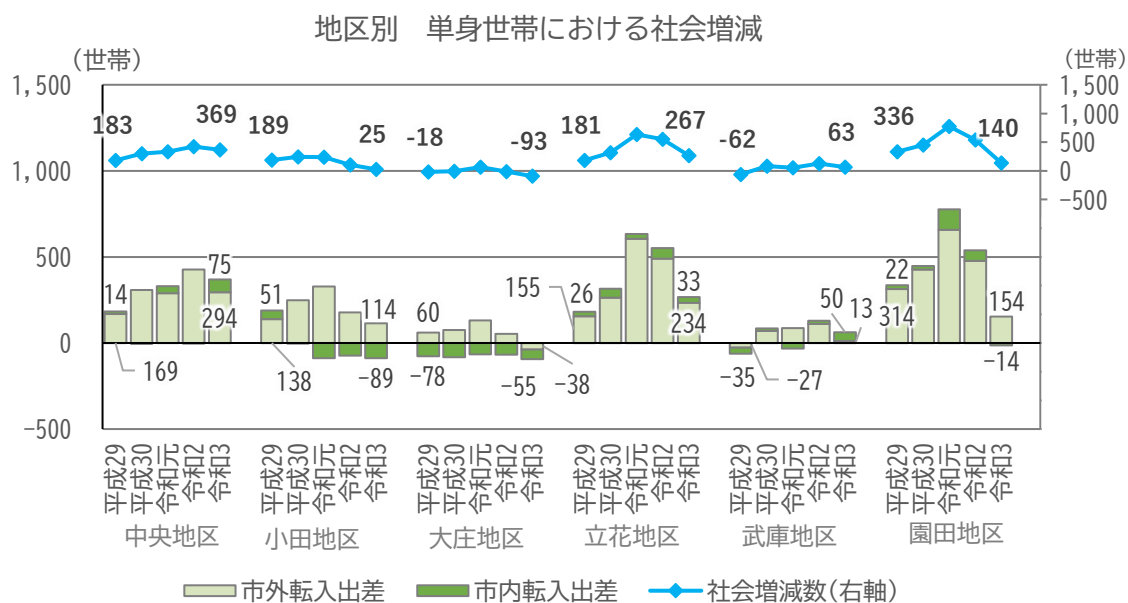


(2) 地区別

① 社会増減

令和3年の社会増減をみると、大庄地区は93世帯の社会減、その他は社会増となり、増加数は、中央地区（369世帯）、立花地区（267世帯）、園田地区（140世帯）の順が多い。最近5年間の推移をみると、立花地区、園田地区は、増加数は令和元年をピークとして、その後、減少している。

また、転入元・転出先の市外・市内別にみると、最近5年間では、立花地区は市外、市内とも転入超過が続き、中央地区、園田地区も市外からの転入超過が目立っている。大庄地区は、市内への転出超過が続いている。



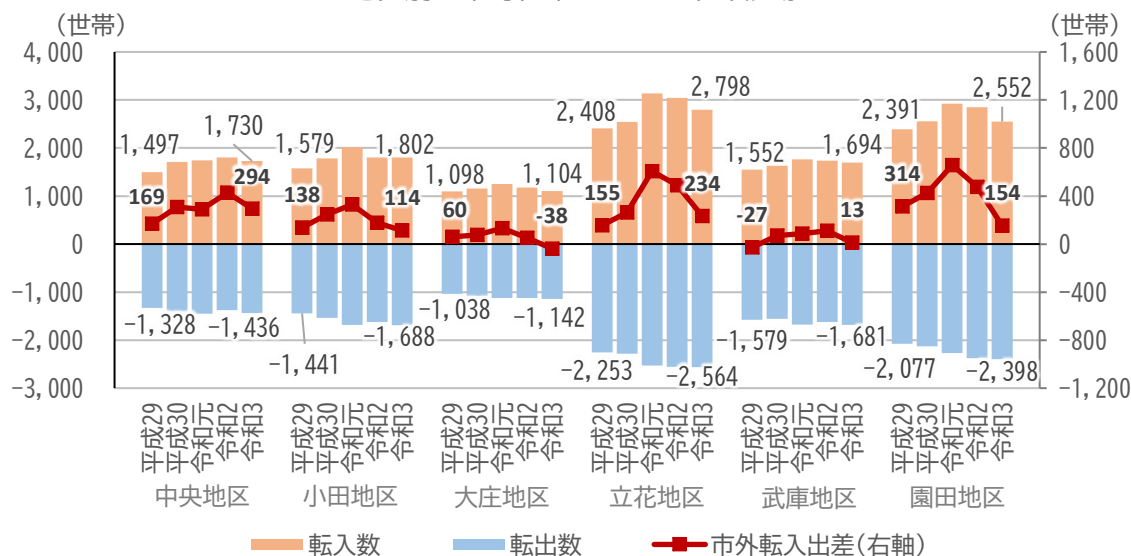
② 市外移動

市外間の移動についてみると、令和3年の単身世帯の転入数は、立花地区（2,798世帯）、園田地区（2,552世帯）、小田地区（1,802世帯）の順が多い。最近5年間では、中央地区は令和2年にかけて増加したが、令和3年は減少した。ほか5地区は令和元年度にかけて増加したが、最近2年は減少している。

転出数は6地区とも増加傾向にあり、令和3年は立花地区（2,564世帯）、園田地区（2,398世帯）、小田地区（1,688世帯）の順で多くなっている。

また、市外転入出差の推移をみると、園田地区、中央地区など5地区では転入超過が続くが、超過数は令和元年～2年以降縮小している。大庄地区は令和3年に転出超過に転じている。

地区別 単身世帯における市外移動



単身世帯の転入

単位 (世帯)	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化 (H29-R3)	
						実数	増加率
全 市	10,525	11,383	12,833	12,410	11,680	1,155	11.0%
中央地区	1,497	1,712	1,741	1,801	1,730	233	15.6%
小田地区	1,579	1,783	2,014	1,802	1,802	223	14.1%
大庄地区	1,098	1,158	1,252	1,177	1,104	6	0.5%
立花地区	2,408	2,545	3,137	3,043	2,798	390	16.2%
武庫地区	1,552	1,628	1,763	1,736	1,694	142	9.1%
園田地区	2,391	2,557	2,926	2,851	2,552	161	6.7%

転出

単位 (世帯)	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化 (H29-R3)	
						実数	増加率
全 市	9,716	9,994	10,733	10,674	10,909	1,193	12.3%
中央地区	1,328	1,405	1,452	1,374	1,436	108	8.1%
小田地区	1,441	1,535	1,685	1,624	1,688	247	17.1%
大庄地区	1,038	1,083	1,121	1,124	1,142	104	10.0%
立花地区	2,253	2,282	2,531	2,553	2,564	311	13.8%
武庫地区	1,579	1,558	1,676	1,625	1,681	102	6.5%
園田地区	2,077	2,131	2,268	2,374	2,398	321	15.5%

市外転入出差 (転入-転出)

単位 (世帯)	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化 (H29-R3)
全 市	809	1,389	2,100	1,736	771	▲ 38
中央地区	169	307	289	427	294	125
小田地区	138	248	329	178	114	▲ 24
大庄地区	60	75	131	53	▲ 38	▲ 98
立花地区	155	263	606	490	234	79
武庫地区	▲ 27	70	87	111	13	40
園田地区	314	426	658	477	154	▲ 160

市内転居 (転居前住所)

単位 (世帯)	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化 (H29-R3)	
						実数	増加率
全 市	6,569	6,716	7,576	7,340	7,403	834	12.7%
中央地区	939	1,012	1,105	1,138	1,104	165	17.6%
小田地区	978	1,060	1,223	1,161	1,156	178	18.2%
大庄地区	768	848	857	868	875	107	13.9%
立花地区	1,518	1,444	1,680	1,630	1,672	154	10.1%
武庫地区	1,018	971	1,218	1,095	1,130	112	11.0%
園田地区	1,348	1,381	1,493	1,448	1,466	118	8.8%

市内転居（転居後住所）

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化（H29-R3）	
						実数	増加率
全 市	6,569	6,716	7,576	7,340	7,403	834	12.7%
中央地区	953	1,007	1,147	1,136	1,179	226	23.7%
小田地区	1,029	1,058	1,134	1,088	1,067	38	3.7%
大庄地区	690	765	791	801	820	130	18.8%
立花地区	1,544	1,497	1,708	1,692	1,705	161	10.4%
武庫地区	983	986	1,185	1,113	1,180	197	20.0%
園田地区	1,370	1,403	1,611	1,510	1,452	82	6.0%

市内転入出差

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化（H29-R3）
全 市	0	0	0	0	0	0
中央地区	14	▲ 5	42	▲ 2	75	61
小田地区	51	▲ 2	▲ 89	▲ 73	▲ 89	▲ 140
大庄地区	▲ 78	▲ 83	▲ 66	▲ 67	▲ 55	23
立花地区	26	53	28	62	33	7
武庫地区	▲ 35	15	▲ 33	18	50	85
園田地区	22	22	118	62	▲ 14	▲ 36

社会増減数（市外転入出差+市内転入出差）

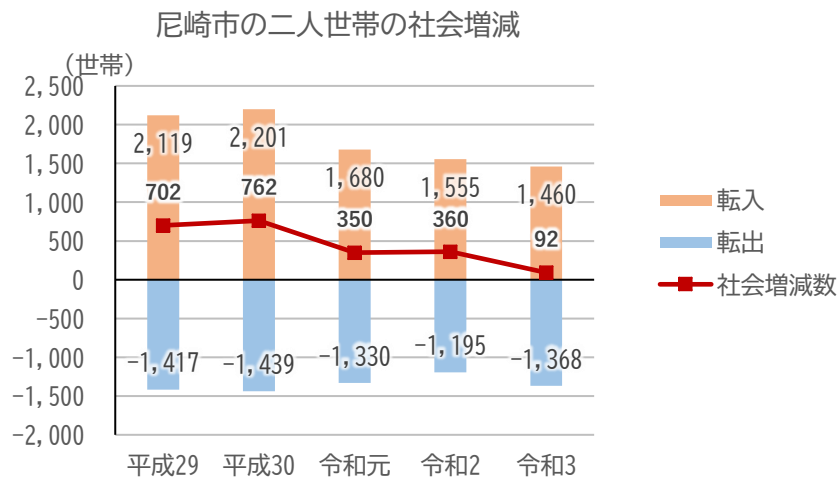
単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化（H29-R3）
全 市	809	1,389	2,100	1,736	771	▲ 38
中央地区	183	302	331	425	369	186
小田地区	189	246	240	105	25	▲ 164
大庄地区	▲ 18	▲ 8	65	▲ 14	▲ 93	▲ 75
立花地区	181	316	634	552	267	86
武庫地区	▲ 62	85	54	129	63	125
園田地区	336	448	776	539	140	▲ 196

資料：尼崎市都市政策課

5 二人世帯の社会動態

(1) 全市

令和3年は、転入数が前年より6.1%減少（▲95世帯）して1,460世帯、転出数は14.5%増加（173世帯）して1,368世帯となった。最近5年間の推移をみると、転入数、転出数とも、平成30年をピークとして減少に転じている。一方、転入数が転出数を上回り、社会増が続いているが、年々その差は小さくなっている。そのため、社会増加数は平成30年の762世帯をピークに縮小し、令和3年は92世帯となった。

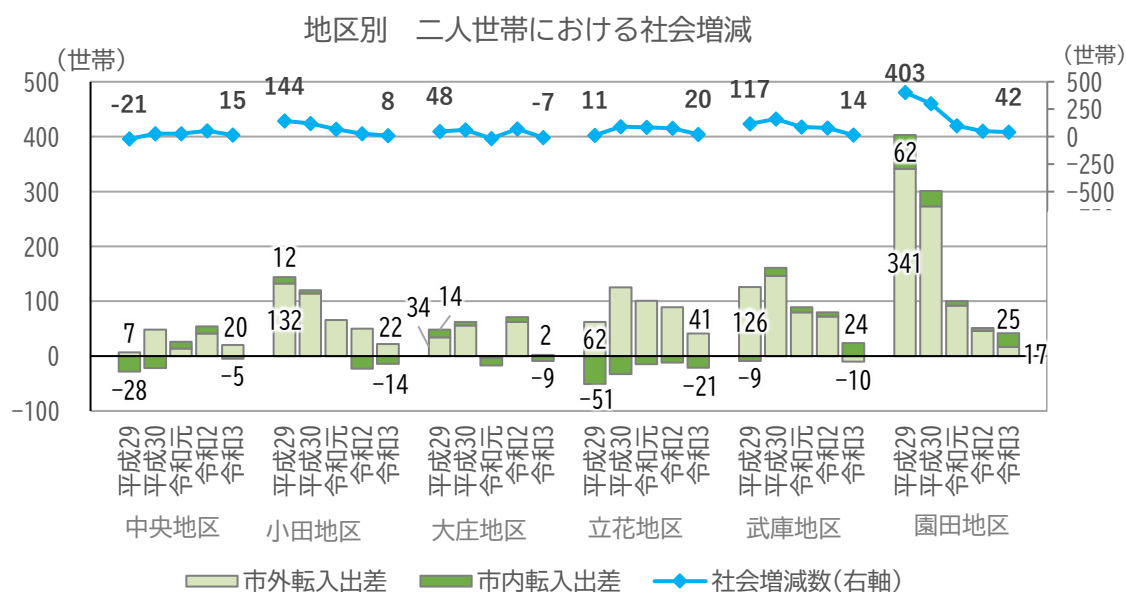


(2) 地区別

① 社会増減

令和3年の社会増減をみると、大庄地区で7世帯の社会減、ほか5地区は社会増となり、社会増加数は、園田地区（42世帯）、立花地区（20世帯）、中央地区（15世帯）の順が多い。最近5年間の推移をみると、小田地区、園田地区、武庫地区は社会増が続くが、その増加数は縮小している。

また、転入元・転出先の市外・市内別にみると、最近5年間では、園田地区は、市外、市内とも転入超過が続いている。立花地区は、市外からの転入超過となっているが、市内へは転出超過となっている。



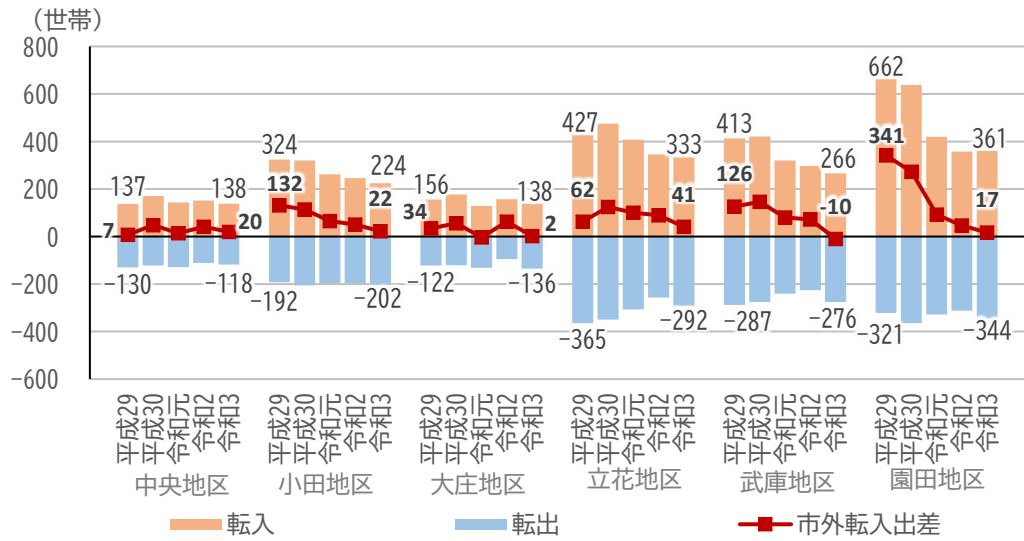
② 市外移動

市外間の移動についてみると、令和3年の転入数は、園田地区（361世帯）、立花地区（333世帯）、武庫地区（266世帯）の順が多い。一方、最近5年間では、小田地区、園田地区、立花地区、武庫地区は転入数の減少傾向にある。

転出数は、令和3年は、園田地区（344世帯）、立花地区（292世帯）、武庫地区（276世帯）の順が多い。最近5年間の推移をみると、中央地区、立花地区、武庫地区は転出数の減少傾向にあったが、令和3年は6地区とも増加となった。

また、市外転出入差をみると、令和3年は、武庫地区が10世帯の転出超過、ほか5地区は転入超過となっている。しかし、ここ5年間の推移をみると、立花地区、小田地区、園田地区では、転入超過数が縮小している。

地区別 二人世帯の市外移動



二人世帯の転入

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化（H29-R3）	
						実数	増加率
全 市	2,119	2,201	1,680	1,555	1,460	▲ 659	▲ 31.1%
中央地区	137	170	143	152	138	▲ 1	0.7%
小田地区	324	320	262	246	224	▲ 100	▲ 30.9%
大庄地区	156	177	128	157	138	▲ 18	▲ 11.5%
立花地区	427	475	407	345	333	▲ 94	▲ 22.0%
武庫地区	413	421	320	297	266	▲ 147	▲ 35.6%
園田地区	662	638	420	358	361	▲ 301	▲ 45.5%

転出

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化（H29-R3）	
						実数	増加率
全 市	1,417	1,439	1,330	1,195	1,368	▲ 49	▲ 3.5%
中央地区	130	122	129	111	118	▲ 12	▲ 9.2%
小田地区	192	206	196	196	202	10	5.2%
大庄地区	122	121	131	95	136	14	11.5%
立花地区	365	350	306	256	292	▲ 73	▲ 20.0%
武庫地区	287	275	240	225	276	▲ 11	▲ 3.8%
園田地区	321	365	328	312	344	23	7.2%

市外転入出差（転入－転出）

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化（H29-R3）
全 市	702	762	350	360	92	▲ 610
中央地区	7	48	14	41	20	13
小田地区	132	114	66	50	22	▲ 110
大庄地区	34	56	▲ 3	62	2	▲ 32
立花地区	62	125	101	89	41	▲ 21
武庫地区	126	146	80	72	▲ 10	▲ 136
園田地区	341	273	92	46	17	▲ 324

市内転居（転居前住所）

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化（H29-R3）	
						実数	増加率
全 市	2,013	2,267	1,959	1,835	1,756	▲ 257	▲ 12.8%
中央地区	233	292	202	229	233	0	0.0%
小田地区	347	375	325	304	239	▲ 108	▲ 31.1%
大庄地区	194	237	192	193	199	5	2.6%
立花地区	474	530	450	421	421	▲ 53	▲ 11.2%
武庫地区	378	350	392	311	325	▲ 53	▲ 14.0%
園田地区	387	483	398	377	339	▲ 48	▲ 12.4%

市内転居（転居後住所）

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化（H29-R3）	
						実数	増加率
全 市	2,013	2,267	1,959	1,835	1,756	▲ 257	▲ 12.8%
中央地区	205	270	214	242	228	23	11.2%
小田地区	359	381	325	281	225	▲ 134	▲ 37.3%
大庄地区	208	243	178	202	190	▲ 18	▲ 8.7%
立花地区	423	497	435	409	400	▲ 23	▲ 5.4%
武庫地区	369	365	401	319	349	▲ 20	▲ 5.4%
園田地区	449	511	406	382	364	▲ 85	▲ 18.9%

市内転入出差

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化（H29-R3）
全 市	0	0	0	0	0	0
中央地区	▲ 28	▲ 22	12	13	▲ 5	23
小田地区	12	6	0	▲ 23	▲ 14	▲ 26
大庄地区	14	6	▲ 14	9	▲ 9	▲ 23
立花地区	▲ 51	▲ 33	▲ 15	▲ 12	▲ 21	30
武庫地区	▲ 9	15	9	8	24	33
園田地区	62	28	8	5	25	▲ 37

社会増減数（市外転入出差+市内転入出差）

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化（H29-R3）
全 市	702	762	350	360	92	▲ 610
中央地区	▲ 21	26	26	54	15	36
小田地区	144	120	66	27	8	▲ 136
大庄地区	48	62	▲ 17	71	▲ 7	▲ 55
立花地区	11	92	86	77	20	9
武庫地区	117	161	89	80	14	▲ 103
園田地区	403	301	100	51	42	▲ 361

資料：尼崎市都市政策課

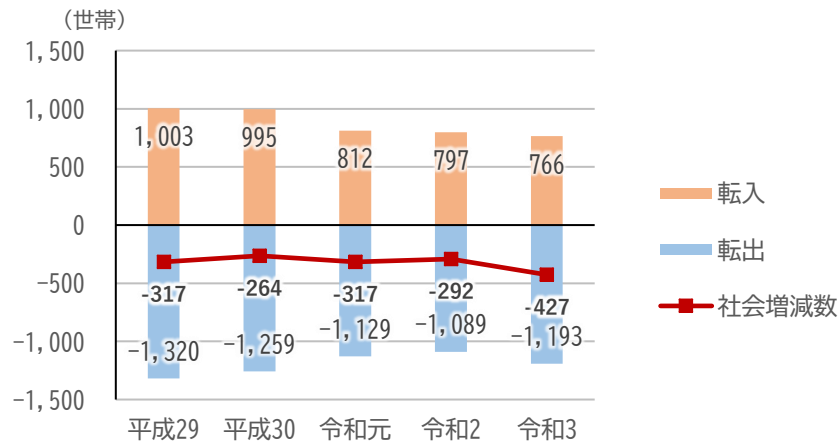
6 三人以上世帯の社会動態

(1) 全市

最近5年間の推移をみると、転入数は減少が続き、令和3年は前年より3.9%減少（▲31世帯）して766世帯となった。転出数は減少が続いていたが、令和3年は9.6%増加（104世帯）して1,193世帯となった。

転入出を差し引きすると、ここ5年間は社会減が続き、令和3年は、減少数が前年より46.2%（135世帯）と大幅に拡大して427世帯となった。

尼崎市の三人以上世帯の社会増減



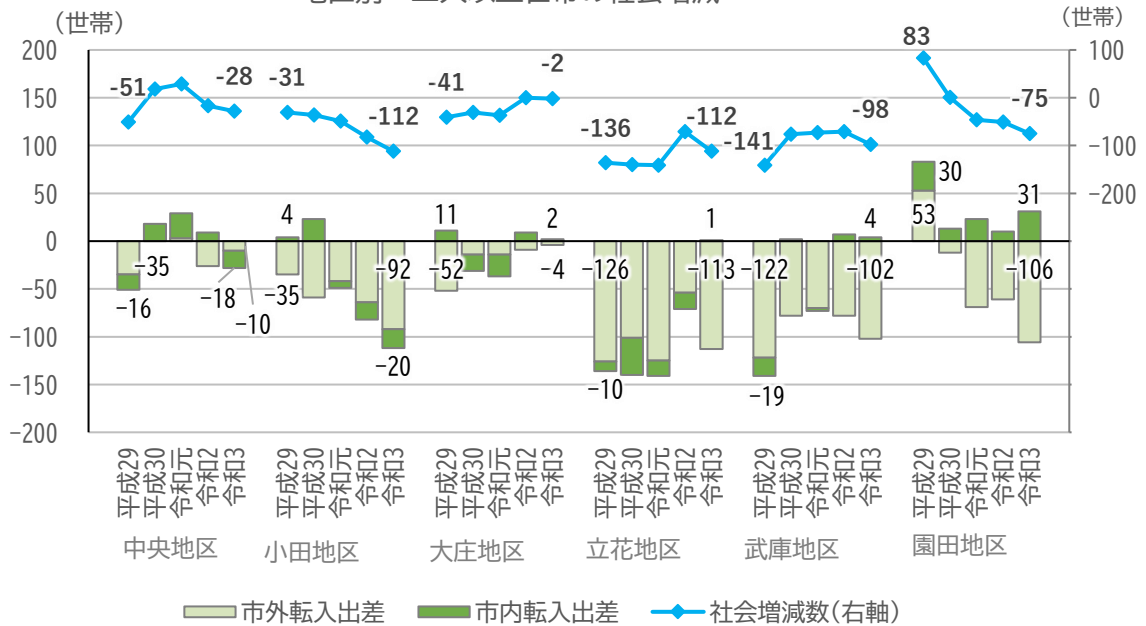
(2) 地区別

① 社会増減

令和3年の社会増減をみると、6地区とも社会減となり、特に、小田地区、立花地区（ともに112世帯）、武庫地区（98世帯）の順で超過数が多い。最近5年間の推移をみると、園田地区は令和元年に転出超過に転じた。中央地区は平成30年に転入超過となったものの、令和2年には再び転出超過に転じた。ほか4地区は転出超過が続いている。

また、転入元・転出先の市外・市内別にみると、最近5年間は、小田地区、立花地区、武庫地区は市外への転出超過が続いている。園田地区は、市外へは転出超過となったが、市内からは転入超過が続いている。

地区別 三人以上世帯の社会増減

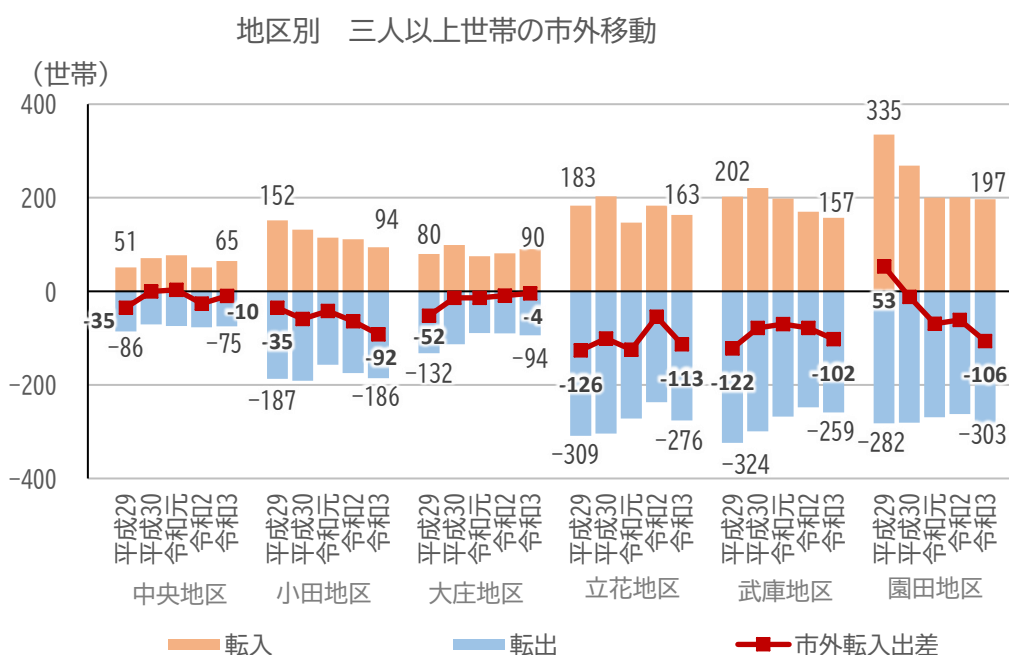


②市外移動

市外間の移動についてみると、令和3年の転入数は、園田地区（197世帯）、立花地区（163世帯）、武庫地区（157世帯）の順で多い。最近5年間では、小田地区、立花地区、武庫地区は減少傾向にある。園田地区は令和元年まで減少し、その後はおおむね横ばいとなっている。

令和3年の転出数は、園田地区（303世帯）、立花地区（276世帯）、武庫地区（259世帯）の順で多い。最近5年間の推移をみると、立花地区、武庫地区などで、転出数が減少していたが、令和3年は中央地区をのぞく5地区が増加となった。

また、市外転出入差の推移をみると、令和3年は6地区とも転出超過となり、なかでも立花地区（113世帯）、園田地区（106世帯）、武庫地区（102世帯）の順で超過数が多い。最近5年間では転出超過数は、園田地区、小田地区などで拡大が続いている。



三人以上世帯の転入

単位 (世帯)	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化 (H29-R3)	
						実数	増加率
全 市	1,003	995	812	797	766	▲ 237	▲ 23.6%
中央地区	51	71	77	51	65	▲ 14	▲ 27.5%
小田地区	152	132	115	111	94	▲ 58	▲ 38.2%
大庄地区	80	99	75	81	90	▲ 10	▲ 12.5%
立花地区	183	203	147	183	163	▲ 20	▲ 10.9%
武庫地区	202	221	198	170	157	▲ 45	▲ 22.3%
園田地区	335	269	200	201	197	▲ 138	▲ 41.2%

転出

単位 (世帯)	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化 (H29-R3)	
						実数	増加率
全 市	1,320	1,259	1,129	1,089	1,193	▲ 127	▲ 9.6%
中央地区	86	71	74	77	75	▲ 11	▲ 12.8%
小田地区	187	191	157	175	186	▲ 1	▲ 0.5%
大庄地区	132	113	89	90	94	▲ 38	▲ 28.8%
立花地区	309	304	272	237	276	▲ 33	▲ 10.7%
武庫地区	324	299	268	248	259	▲ 65	▲ 20.1%
園田地区	282	281	269	262	303	21	7.4%

市外転入出差（転入－転出）

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化 (H29-R3)
全 市	▲ 317	▲ 264	▲ 317	▲ 292	▲ 427	▲ 110
中央地区	▲ 35	0	3	▲ 26	▲ 10	25
小田地区	▲ 35	▲ 59	▲ 42	▲ 64	▲ 92	▲ 57
大庄地区	▲ 52	▲ 14	▲ 14	▲ 9	▲ 4	48
立花地区	▲ 126	▲ 101	▲ 125	▲ 54	▲ 113	13
武庫地区	▲ 122	▲ 78	▲ 70	▲ 78	▲ 102	20
園田地区	53	▲ 12	▲ 69	▲ 61	▲ 106	▲ 159

市内転居（転居前住所）

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化（H29-R3）	
						実数	増加率
全 市	2,219	2,200	1,936	1,929	1,809	▲ 410	▲ 18.5%
中央地区	208	210	164	182	171	▲ 37	▲ 17.8%
小田地区	382	327	286	297	246	▲ 136	▲ 35.6%
大庄地区	219	242	204	225	172	▲ 47	▲ 21.5%
立花地区	472	546	470	446	423	▲ 49	▲ 10.4%
武庫地区	448	387	396	336	382	▲ 66	▲ 14.7%
園田地区	490	488	416	443	415	▲ 75	▲ 15.3%

市内転居（転居後住所）

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化（H29-R3）	
						実数	増加率
全 市	2,219	2,200	1,936	1,929	1,809	▲ 410	▲ 18.5%
中央地区	192	228	190	191	153	▲ 39	▲ 20.3%
小田地区	386	350	279	279	226	▲ 160	▲ 41.5%
大庄地区	230	225	181	234	174	▲ 56	▲ 24.3%
立花地区	462	507	454	429	424	▲ 38	▲ 8.2%
武庫地区	429	389	393	343	386	▲ 43	▲ 10.0%
園田地区	520	501	439	453	446	▲ 74	▲ 14.2%

市内転入出差

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化 (H29-R3)
全 市	0	0	0	0	0	0
中央地区	▲ 16	18	26	9	▲ 18	▲ 2
小田地区	4	23	▲ 7	▲ 18	▲ 20	▲ 24
大庄地区	11	▲ 17	▲ 23	9	2	▲ 9
立花地区	▲ 10	▲ 39	▲ 16	▲ 17	1	11
武庫地区	▲ 19	2	▲ 3	7	4	23
園田地区	30	13	23	10	31	1

社会増減数（市外転入出差＋市内転入出差）

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化 (H29-R3)
全 市	▲ 317	▲ 264	▲ 317	▲ 292	▲ 427	▲ 110
中央地区	▲ 51	18	29	▲ 17	▲ 28	23
小田地区	▲ 31	▲ 36	▲ 49	▲ 82	▲ 112	▲ 81
大庄地区	▲ 41	▲ 31	▲ 37	0	▲ 2	39
立花地区	▲ 136	▲ 140	▲ 141	▲ 71	▲ 112	24
武庫地区	▲ 141	▲ 76	▲ 73	▲ 71	▲ 98	43
園田地区	83	1	▲ 46	▲ 51	▲ 75	▲ 158

資料：尼崎市都市政策課

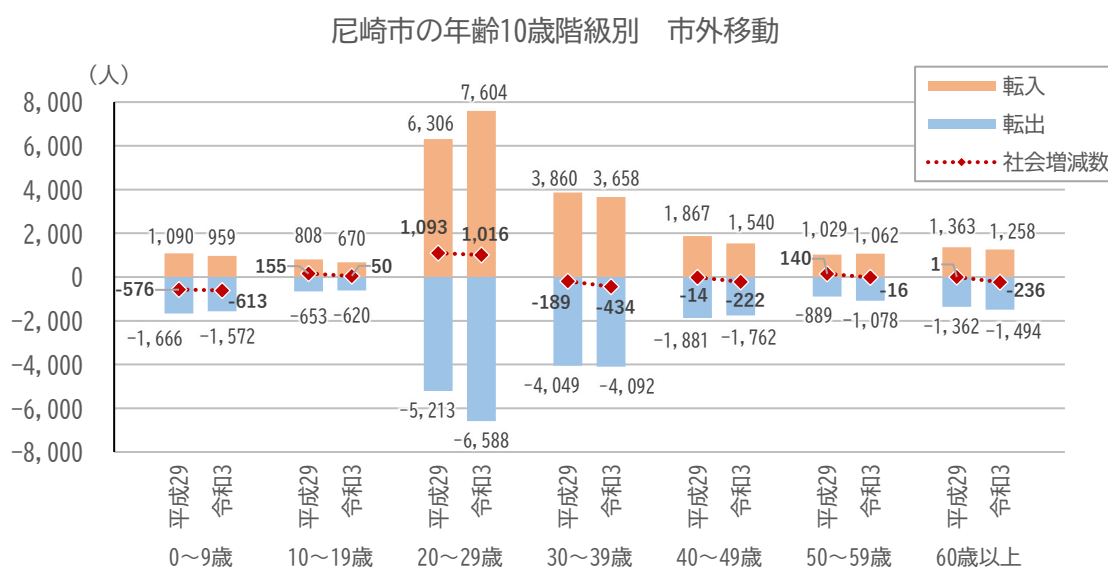
7 年齢別の移動数

(1) 総数

令和3年における尼崎市の転入数、転出数を年齢別（10歳階級別）にみると、20～29歳は転入数7,604人、転出数6,588人と突出して多く、次いで、30～39歳で転入数が3,658人、転出数が4,092人と多くなっている。

社会増減をみると、令和3年では、20～29歳は1,016人の社会増、10～19歳が50人の社会増となっている。その他の年代は社会減となり、減少数は0～9歳（613人）、30～39歳（434人）、60歳以上（236人）の順が多い。

社会増減を平成29年と比べると、20～29歳は社会増加数が7.0%縮小（▲77人）、10～19歳は社会増加数が67.7%縮小（▲105人）した。50～59歳は社会増から社会減に転じ、そのほかの年代では社会減少数が拡大した。



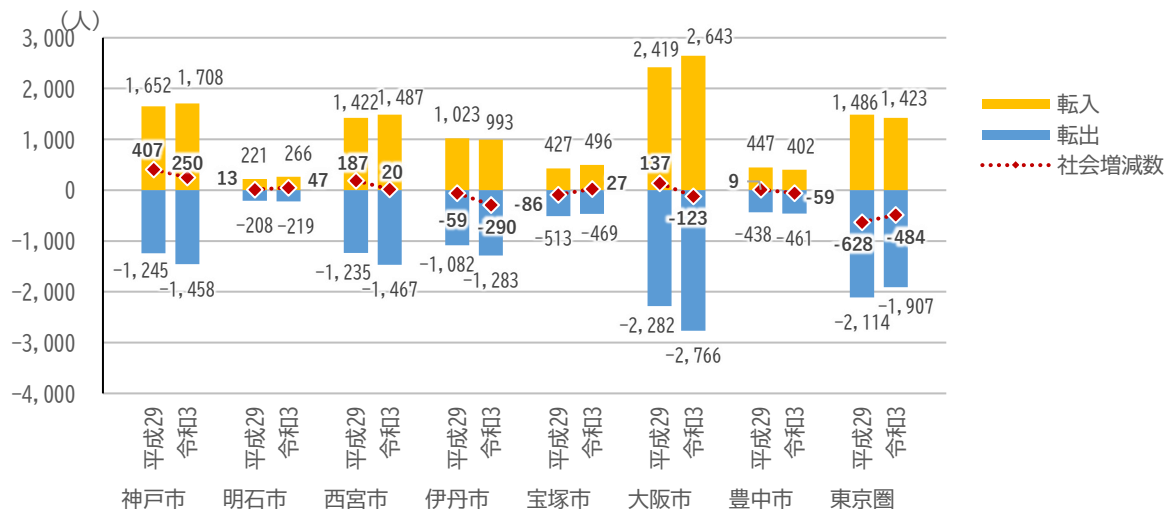
(2) 転入元・転出先別の移動数

主な転入元別に転入数をみると、令和3年は、大阪市（2,643人）、神戸市（1,708人）、西宮市（1,487人）の順が多い。平成29年と比べると、転入数が増加したのは、明石市（20.4%、45人）、宝塚市（16.2%、69人）、大阪市（9.3%、224人）など5市、減少したのは、豊中市（10.1%、▲45人）、東京圏（4.2%、▲63人）、伊丹市（2.9%、▲30人）である。

主な転出先別の転出数は、令和3年は、大阪市（2,766人）、東京圏（1,907人）、西宮市（1,467人）の順が多い。平成29年と比べると、転出数が減少したのは、東京圏（9.8%、▲207人）、宝塚市（8.6%、▲44人）で、そのほかは約5～21%の増加となっている。

社会増減をみると、令和3年は転入超過となったのは、神戸市（250人）、明石市（47人）、宝塚市（27人）、西宮市（20人）である。平成29年からの推移をみると、大阪市、豊中市は転入超過から転出超過となり、宝塚市は転入超過となった。

尼崎市の主な転入元・転出先別 市外移動者



10歳階級別転入元別 転入数（単位：人）

平成29年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
総数	16,323	1,090	808	6,306	3,860	1,867	1,029	1,363
神戸市	1,652	91	79	676	409	163	96	138
明石市	221	9	16	95	57	21	12	11
西宮市	1,422	126	61	431	360	178	113	153
伊丹市	1,023	73	52	320	263	127	85	103
宝塚市	427	16	30	143	79	53	36	70
大阪市	2,419	168	84	848	700	280	147	192
豊中市	447	34	27	140	117	45	26	58
東京圏	1,486	109	43	590	360	222	109	53
その他	7,226	464	416	3,063	1,515	778	405	585
平成30年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
総数	17,998	1,076	888	7,336	4,184	1,930	1,080	1,504
神戸市	1,791	80	78	777	421	198	91	146
明石市	263	17	23	112	55	23	16	17
西宮市	1,534	117	60	497	391	164	106	199
伊丹市	1,067	73	40	385	238	122	74	135
宝塚市	476	20	31	168	112	44	39	62
大阪市	2,723	146	90	1,088	775	290	167	167
豊中市	418	39	16	134	107	42	36	44
東京圏	1,619	138	50	640	405	206	120	60
その他	8,107	446	500	3,535	1,680	841	431	674
令和元年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
総数	17,644	951	871	7,635	3,971	1,778	1,046	1,390
神戸市	1,786	70	72	825	422	169	99	129
明石市	195	5	10	97	58	8	7	10
西宮市	1,453	99	67	546	307	165	100	169
伊丹市	1,049	63	62	382	221	113	75	133
宝塚市	410	9	22	156	90	48	29	56
大阪市	2,729	152	93	1,079	758	273	163	211
豊中市	434	20	21	156	99	59	31	48
東京圏	1,536	117	33	643	362	203	119	59
その他	8,052	416	491	3,751	1,654	740	423	575
令和2年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
総数	17,395	945	795	7,528	3,821	1,799	1,130	1,374
神戸市	1,790	62	65	821	445	152	100	145
明石市	219	12	11	105	54	15	11	11
西宮市	1,471	82	70	533	329	161	110	186
伊丹市	990	64	43	349	215	120	72	127
宝塚市	416	11	22	174	76	36	39	58
大阪市	2,733	157	79	1,090	746	312	182	167
豊中市	400	22	19	146	80	69	25	39
東京圏	1,561	139	66	616	348	204	117	71
その他	7,815	396	420	3,694	1,528	730	474	570
令和3年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
総数	16,751	959	670	7,604	3,658	1,540	1,062	1,258
神戸市	1,708	76	50	822	421	138	91	110
明石市	266	11	14	126	65	25	6	19
西宮市	1,487	88	65	567	338	152	121	156
伊丹市	993	66	45	377	216	99	67	123
宝塚市	496	24	22	209	109	40	35	57
大阪市	2,643	170	61	1,116	734	255	155	152
豊中市	402	24	20	159	92	40	30	37
東京圏	1,423	110	35	604	308	177	131	58
その他	7,336	390	358	3,624	1,375	614	426	546
変化(H29-R3)	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
総数	428	▲131	▲138	1,298	▲202	▲327	33	▲105
神戸市	56	▲15	▲29	146	12	▲25	▲5	▲28
明石市	45	2	▲2	31	8	4	▲6	8
西宮市	65	▲38	4	136	▲22	▲26	8	3
伊丹市	▲30	▲7	▲7	57	▲47	▲28	▲18	20
宝塚市	69	8	▲8	66	30	▲13	▲1	▲13
大阪市	224	2	▲23	268	34	▲25	8	▲40
豊中市	▲45	▲10	▲7	19	▲25	▲5	4	▲21
東京圏	▲63	1	▲8	14	▲52	▲45	22	5
その他	110	▲74	▲58	561	▲140	▲164	21	▲39

資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

(注1) 平成30年以降の数値には外国人の移動を含む。

(注2) 「総数」は転入元・年齢不詳等を含むため、地域別・年齢別移動者数の合計と合わないことがある。

10歳階級別転出先別 転出数(単位:人)

平成29年	総数	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上
総数	15,713	1,666	653	5,213	4,049	1,881	889	1,362
神戸市	1,245	114	72	395	327	143	73	121
明石市	208	23	13	61	64	18	15	14
西宮市	1,235	146	51	345	343	139	71	140
伊丹市	1,082	167	49	279	270	132	57	128
宝塚市	513	92	8	115	168	47	23	60
大阪市	2,282	107	87	875	556	314	127	216
豊中市	438	45	20	122	115	62	31	43
東京圏	2,114	207	90	841	504	282	122	68
その他	6,596	765	263	2,180	1,702	744	370	572
平成30年	総数	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上
総数	16,311	1,547	721	5,691	4,091	1,847	969	1,445
神戸市	1,291	118	46	452	350	152	64	109
明石市	214	33	12	70	60	11	10	18
西宮市	1,192	119	55	381	304	135	79	119
伊丹市	1,293	201	53	328	371	127	84	129
宝塚市	486	61	21	130	126	59	45	44
大阪市	2,522	102	83	1,041	609	291	148	248
豊中市	405	33	23	131	108	44	33	33
東京圏	2,203	194	91	910	547	252	131	78
その他	6,705	686	337	2,248	1,616	776	375	667
令和元年	総数	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上
総数	16,421	1,546	658	5,832	4,061	1,847	1,003	1,461
神戸市	1,273	115	56	429	361	114	73	125
明石市	215	25	6	84	60	18	7	15
西宮市	1,366	177	68	374	339	160	87	161
伊丹市	1,089	165	34	301	283	117	66	123
宝塚市	506	72	15	130	135	66	35	53
大阪市	2,724	123	93	1,080	715	298	159	256
豊中市	414	39	14	123	111	51	37	39
東京圏	2,298	205	89	975	537	265	149	78
その他	6,536	625	283	2,336	1,520	758	390	611
令和2年	総数	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上
総数	16,467	1,514	624	6,219	3,972	1,697	1,030	1,409
神戸市	1,368	131	32	510	341	158	84	112
明石市	256	37	11	89	63	31	11	14
西宮市	1,325	152	44	366	356	153	110	144
伊丹市	1,114	174	40	309	289	131	68	103
宝塚市	457	68	20	123	134	43	25	44
大阪市	2,746	112	71	1,227	681	255	157	243
豊中市	447	38	10	157	108	50	30	54
東京圏	1,982	147	86	919	445	202	110	73
その他	6,772	655	310	2,519	1,555	674	435	622
令和3年	総数	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上
総数	17,207	1,572	620	6,588	4,092	1,762	1,078	1,494
神戸市	1,458	144	37	578	346	148	96	109
明石市	219	32	11	81	64	7	4	20
西宮市	1,467	146	62	421	418	152	103	165
伊丹市	1,283	176	47	349	359	133	74	145
宝塚市	469	69	15	139	126	47	31	42
大阪市	2,766	101	65	1,266	628	274	155	277
豊中市	461	43	16	163	105	54	36	44
東京圏	1,907	131	78	886	407	211	127	67
その他	7,178	730	289	2,705	1,639	736	452	625
変化(H29-R3)	総数	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上
総数	1,494	▲ 94	▲ 33	1,375	43	▲ 119	189	132
神戸市	213	30	▲ 35	183	19	5	23	▲ 12
明石市	11	9	▲ 2	20	0	▲ 11	▲ 11	6
西宮市	232	0	11	76	75	13	32	25
伊丹市	201	9	▲ 2	70	89	1	17	17
宝塚市	▲ 44	▲ 23	7	24	▲ 42	0	8	▲ 18
大阪市	484	▲ 6	▲ 22	391	72	▲ 40	28	61
豊中市	23	▲ 2	▲ 4	41	▲ 10	▲ 8	5	1
東京圏	▲ 207	▲ 76	▲ 12	45	▲ 97	▲ 71	5	▲ 1
その他	582	▲ 35	26	525	▲ 63	▲ 8	82	53

資料:総務省「住民基本台帳人口移動報告」

(注1)平成30年以降の数値には外国人の移動を含む。

(注2)「総数」は転出元・年齢不詳等を含むため、地域別・年齢別移動者数の合計と合わないことがある。

10歳階級別 転入元・転出先別 社会増減数 (単位：人)

平成29年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
総数	610	▲ 576	155	1,093	▲ 189	▲ 14	140	1
神戸市	407	▲ 23	7	281	82	20	23	17
明石市	13	▲ 14	3	34	▲ 7	3	▲ 3	▲ 3
西宮市	187	▲ 20	10	86	17	39	42	13
伊丹市	▲ 59	▲ 94	3	41	▲ 7	▲ 5	28	▲ 25
宝塚市	▲ 86	▲ 76	22	28	▲ 89	6	13	10
大阪市	137	61	▲ 3	▲ 27	144	▲ 34	20	▲ 24
豊中市	9	▲ 11	7	18	2	▲ 17	▲ 5	15
東京圏	▲ 628	▲ 98	▲ 47	▲ 251	▲ 144	▲ 60	▲ 13	▲ 15
その他	630	▲ 301	153	883	▲ 187	34	35	13
平成30年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
総数	1,687	▲ 471	167	1,645	93	83	111	59
神戸市	500	▲ 38	32	325	71	46	27	37
明石市	49	▲ 16	11	42	▲ 5	12	6	▲ 1
西宮市	342	▲ 2	5	116	87	29	27	80
伊丹市	▲ 226	▲ 128	▲ 13	57	▲ 133	▲ 5	▲ 10	6
宝塚市	▲ 10	▲ 41	10	38	▲ 14	▲ 15	▲ 6	18
大阪市	201	44	7	47	166	▲ 1	19	▲ 81
豊中市	13	6	▲ 7	3	▲ 1	▲ 2	3	11
東京圏	▲ 584	▲ 56	▲ 41	▲ 270	▲ 142	▲ 46	▲ 11	▲ 18
その他	1,402	▲ 240	163	1,287	64	65	56	7
令和元年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
総数	1,223	▲ 595	213	1,803	▲ 90	▲ 69	43	▲ 71
神戸市	513	▲ 45	16	396	61	55	26	4
明石市	▲ 20	▲ 20	4	13	▲ 2	▲ 10	0	▲ 5
西宮市	87	▲ 78	▲ 1	172	▲ 32	5	13	8
伊丹市	▲ 40	▲ 102	28	81	▲ 62	▲ 4	9	10
宝塚市	▲ 96	▲ 63	7	26	▲ 45	▲ 18	▲ 6	3
大阪市	5	29	0	▲ 1	43	▲ 25	4	▲ 45
豊中市	20	▲ 19	7	33	▲ 12	8	▲ 6	9
東京圏	▲ 762	▲ 88	▲ 56	▲ 332	▲ 175	▲ 62	▲ 30	▲ 19
その他	1,527	▲ 209	208	1,415	134	▲ 18	33	▲ 36
令和2年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
総数	928	▲ 569	171	1,309	▲ 151	102	100	▲ 35
神戸市	422	▲ 69	33	311	104	▲ 6	16	33
明石市	▲ 37	▲ 25	0	16	▲ 9	▲ 16	0	▲ 3
西宮市	146	▲ 70	26	167	▲ 27	8	0	42
伊丹市	▲ 124	▲ 110	3	40	▲ 74	▲ 11	4	24
宝塚市	▲ 41	▲ 57	2	51	▲ 58	▲ 7	14	14
大阪市	▲ 13	45	8	▲ 137	65	57	25	▲ 76
豊中市	▲ 47	▲ 16	9	▲ 11	▲ 28	19	▲ 5	▲ 15
東京圏	▲ 421	▲ 8	▲ 20	▲ 303	▲ 97	2	7	▲ 2
その他	1,043	▲ 259	110	1,175	▲ 27	56	39	▲ 52
令和3年	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
総数	▲ 456	▲ 613	50	1,016	▲ 434	▲ 222	▲ 16	▲ 236
神戸市	250	▲ 68	13	244	75	▲ 10	▲ 5	1
明石市	47	▲ 21	3	45	1	18	2	▲ 1
西宮市	20	▲ 58	3	146	▲ 80	0	18	▲ 9
伊丹市	▲ 290	▲ 110	▲ 2	28	▲ 143	▲ 34	▲ 7	▲ 22
宝塚市	27	▲ 45	7	70	▲ 17	▲ 7	4	15
大阪市	▲ 123	69	▲ 4	▲ 150	106	▲ 19	0	▲ 125
豊中市	▲ 59	▲ 19	4	▲ 4	▲ 13	▲ 14	▲ 6	▲ 7
東京圏	▲ 484	▲ 21	▲ 43	▲ 282	▲ 99	▲ 34	4	▲ 9
その他	158	▲ 340	69	919	▲ 264	▲ 122	▲ 26	▲ 79
変化(H29-R3)	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
総数	▲ 1,066	▲ 37	▲ 105	▲ 77	▲ 245	▲ 208	▲ 156	▲ 237
神戸市	▲ 157	▲ 45	6	▲ 37	▲ 7	▲ 30	▲ 28	▲ 16
明石市	34	▲ 7	0	11	8	15	5	2
西宮市	▲ 167	▲ 38	▲ 7	60	▲ 97	▲ 39	▲ 24	▲ 22
伊丹市	▲ 231	▲ 16	▲ 5	▲ 13	▲ 136	▲ 29	▲ 35	3
宝塚市	113	31	▲ 15	42	72	▲ 13	▲ 9	5
大阪市	▲ 260	8	▲ 1	▲ 123	▲ 38	15	▲ 20	▲ 101
豊中市	▲ 68	▲ 8	▲ 3	▲ 22	▲ 15	3	▲ 1	▲ 22
東京圏	144	77	4	▲ 31	45	26	17	6
その他	▲ 472	▲ 39	▲ 84	36	▲ 77	▲ 156	▲ 61	▲ 92

資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

(注1) 平成30年以降の数値には外国人の移動を含む。

(注2) 「総数」は転出先・転入元・年齢不詳等を含み、地域別・年齢別の合計と合わないことがある。

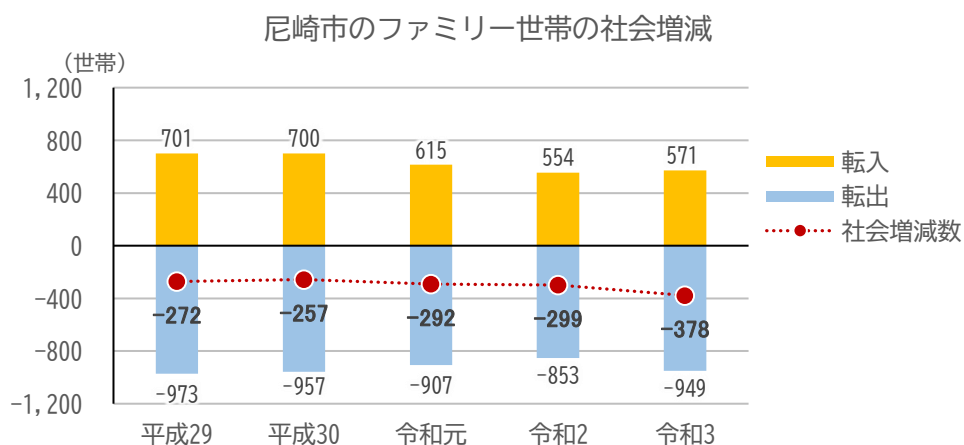
Ⅲ ファミリー世帯の社会動態

1 社会増減

(1) 全市

ファミリー世帯（本報告書では、世帯主と5歳未満の子どもがいる世帯を指す）の最近5年間の推移をみると、転入数、転出数は、ともに令和2年まで減少した。令和3年は、転入数は前年より3.1%増加（17世帯）して571世帯となったが、転出数が11.3%増加（96世帯）して949世帯となって、転入数を上回り、378世帯の社会減となった。

また、減少数は前年より26.4%（79世帯）多くなった。



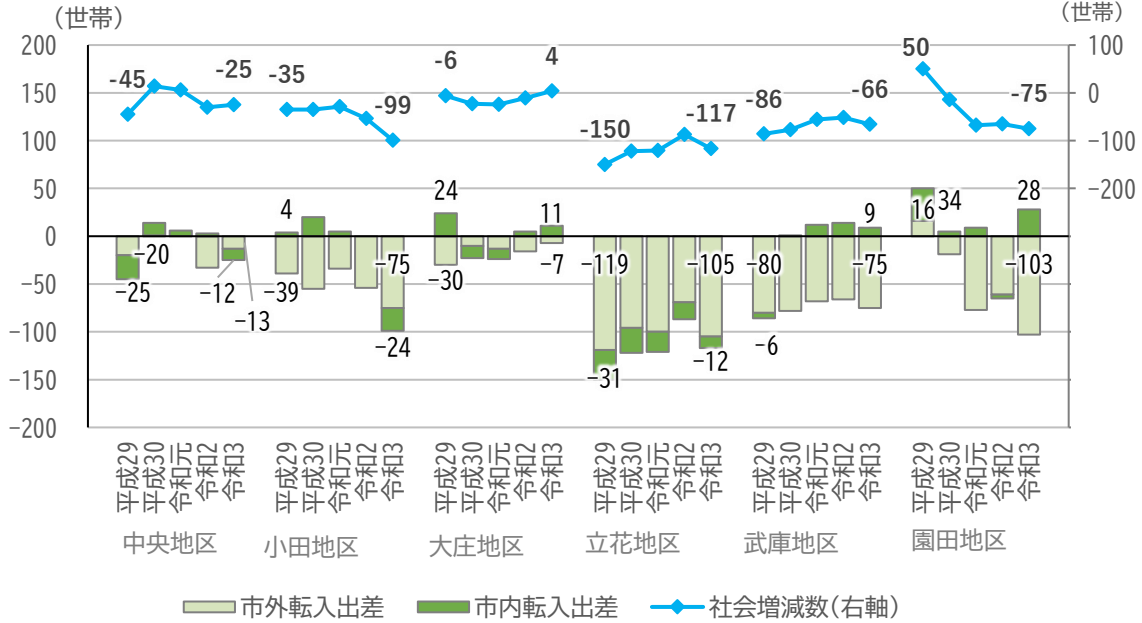
(2) 地区別

① 社会増減

令和3年の社会増減をみると、大庄地区が4世帯の社会増、ほか5地区は社会減となった。このうち、立花地区（117世帯）、小田地区（99世帯）、園田地区（75世帯）の順で減少数が多い。最近5年間の推移をみると、立花地区、武庫地区、小田地区では社会減が続いているが、このうち、立花地区、武庫地区は減少数が縮小傾向にある。一方で、小田地区は減少数が拡大し、園田地区は社会増から社会減へ転じている。

また、転入元・転出先の市外・市内別にみると、最近5年間では、立花地区では市外、市内とも転出超過が続いている。

地区別 ファミリー世帯の社会増減

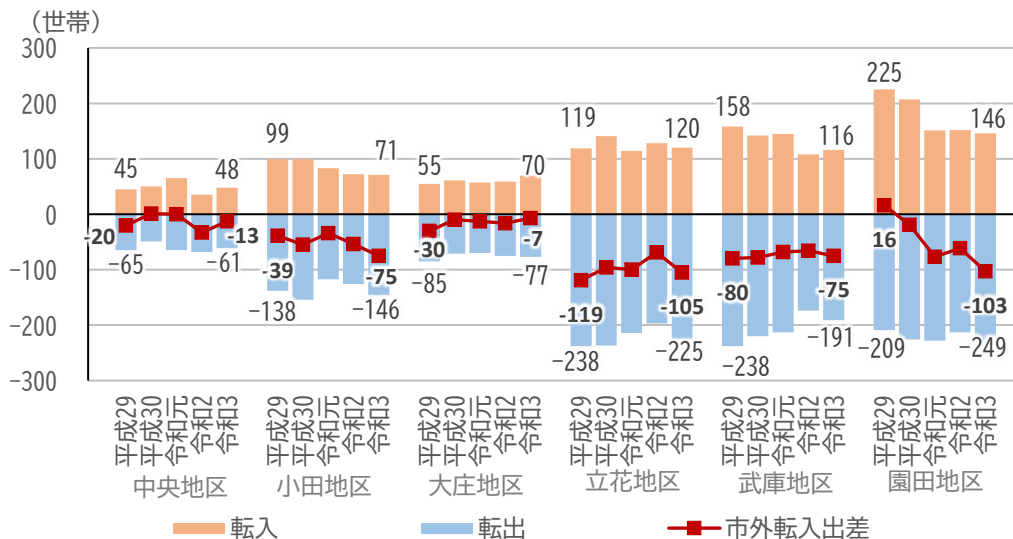


②市外移動

市外間の移動についてみると、令和3年の転入数は、園田地区（146世帯）、立花地区（120世帯）、武庫地区（116世帯）の順が多い。最近5年間では、小田地区、武庫地区、園田地区は減少傾向にある。令和3年の転出数は園田地区（249世帯）、立花地区（225世帯）、武庫地区（191世帯）の順が多い。最近5年間をみると、立花地区、武庫地区は減少傾向にあったが、令和3年は増加となった。

また、市外転出入差をみると、令和3年は6地区とも転出超過となり、立花地区（105世帯）、園田地区（103世帯）、小田地区、武庫地区（ともに75世帯）の順で超過数が多い。最近5年間の推移をみると、園田地区、小田地区で転出超過数が拡大傾向にある。

地区別 ファミリー世帯の市外移動



ファミリー世帯の転入数

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化（H29-R3）	
						実数	増加率
全 市	701	700	615	554	571	▲ 130	▲ 18.5%
中央地区	45	50	65	35	48	3	6.7%
小田地区	99	99	83	72	71	▲ 28	▲ 28.3%
大庄地区	55	61	57	59	70	15	27.3%
立花地区	119	141	114	128	120	1	0.8%
武庫地区	158	142	145	108	116	▲ 42	▲ 26.6%
園田地区	225	207	151	152	146	▲ 79	▲ 35.1%

転出数

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化（H29-R3）	
						実数	増加率
全 市	973	957	907	853	949	▲ 24	▲ 2.5%
中央地区	65	49	65	68	61	▲ 4	▲ 6.2%
小田地区	138	154	117	126	146	8	5.8%
大庄地区	85	71	70	75	77	▲ 8	▲ 9.4%
立花地区	238	237	214	197	225	▲ 13	▲ 5.5%
武庫地区	238	220	213	174	191	▲ 47	▲ 19.7%
園田地区	209	226	228	213	249	40	19.1%

市外転入出差（転入－転出）

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化（H29-R3）
全 市	▲ 272	▲ 257	▲ 292	▲ 299	▲ 378	▲ 106
中央地区	▲ 20	1	0	▲ 33	▲ 13	7
小田地区	▲ 39	▲ 55	▲ 34	▲ 54	▲ 75	▲ 36
大庄地区	▲ 30	▲ 10	▲ 13	▲ 16	▲ 7	23
立花地区	▲ 119	▲ 96	▲ 100	▲ 69	▲ 105	14
武庫地区	▲ 80	▲ 78	▲ 68	▲ 66	▲ 75	5
園田地区	16	▲ 19	▲ 77	▲ 61	▲ 103	▲ 119

市内転居（転居前住所別）

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化（H29-R3）	
						実数	増加率
全 市	1,311	1,308	1,114	1,184	1,152	▲ 159	▲ 12.1%
中央地区	127	130	118	114	107	▲ 20	▲ 15.7%
小田地区	240	206	165	178	159	▲ 81	▲ 33.8%
大庄地区	119	140	111	140	105	▲ 14	▲ 11.8%
立花地区	292	325	273	282	277	▲ 15	▲ 5.1%
武庫地区	243	214	194	192	219	▲ 24	▲ 9.9%
園田地区	290	293	253	278	285	▲ 5	▲ 1.7%

市内転居（転居後住所別）

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化（H29-R3）	
						実数	増加率
全 市	1,311	1,308	1,114	1,184	1,152	▲ 159	▲ 12.1%
中央地区	102	143	124	117	95	▲ 7	▲ 6.9%
小田地区	244	226	170	178	135	▲ 109	▲ 44.7%
大庄地区	143	127	100	145	116	▲ 27	▲ 18.9%
立花地区	261	299	252	264	265	4	1.5%
武庫地区	237	215	206	206	228	▲ 9	▲ 3.8%
園田地区	324	298	262	274	313	▲ 11	▲ 3.4%

市内転入出差

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化（H29-R3）
全 市	0	0	0	0	0	0
中央地区	▲ 25	13	6	3	▲ 12	13
小田地区	4	20	5	0	▲ 24	▲ 28
大庄地区	24	▲ 13	▲ 11	5	11	▲ 13
立花地区	▲ 31	▲ 26	▲ 21	▲ 18	▲ 12	19
武庫地区	▲ 6	1	12	14	9	15
園田地区	34	5	9	▲ 4	28	▲ 6

社会増減数（市外転入出差+市内転入出差）

単位（世帯）	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化（H29-R3）
全 市	▲ 272	▲ 257	▲ 292	▲ 299	▲ 378	▲ 106
中央地区	▲ 45	14	6	▲ 30	▲ 25	20
小田地区	▲ 35	▲ 35	▲ 29	▲ 54	▲ 99	▲ 64
大庄地区	▲ 6	▲ 23	▲ 24	▲ 11	4	10
立花地区	▲ 150	▲ 122	▲ 121	▲ 87	▲ 117	33
武庫地区	▲ 86	▲ 77	▲ 56	▲ 52	▲ 66	20
園田地区	50	▲ 14	▲ 68	▲ 65	▲ 75	▲ 125

資料：尼崎市都市政策課

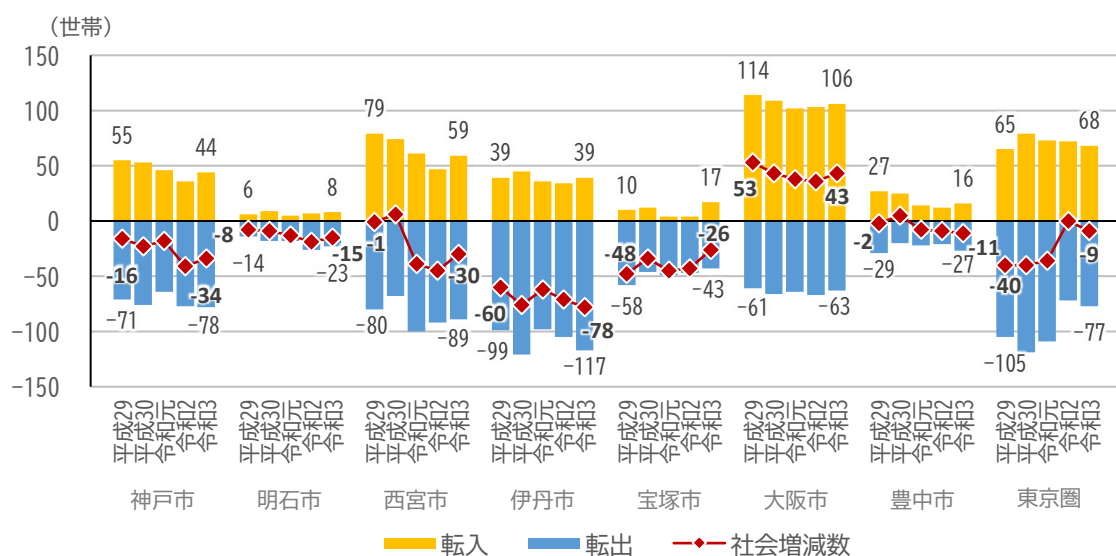
2 転入元・転出先別の移動数

主な転入元別に転入数をみると、令和3年は、大阪市（106世帯）、東京圏（68世帯）、西宮市（59世帯）の順が多い。最近5年間では、神戸市、西宮市、大阪市、豊中市は、転入数が減少傾向にある。東京圏は平成30年に増加した後は減少が続いている。

主な転出先別に転出数をみると、令和3年は伊丹市（117世帯）、西宮市（89世帯）、神戸市（78世帯）の順が多い。最近5年間をみると、西宮市、伊丹市、明石市は転出数が増加する傾向がうかがえる。

社会増減をみると、令和3年は大阪市が43世帯の社会増、そのほかは社会減となり、減少数は伊丹市（78世帯）、神戸市（34世帯）、西宮市（30世帯）の順が多い。最近5年間の推移をみると、大阪市では、社会増加数が縮小する傾向にある。また、伊丹市は社会減少数が拡大する傾向にあり、一方で、宝塚市は縮小傾向にある。

尼崎市の主な転入元・転出先別 ファミリー世帯の市外移動



ファミリー世帯の転入元別転入数

単位 (世帯)	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化 (H29-R3)	
						実数	増加率
合計	701	700	615	554	571	▲ 130	▲ 18.5%
神戸市	55	53	46	36	44	▲ 11	▲ 20.0%
明石市	6	9	5	7	8	2	33.3%
西宮市	79	74	61	47	59	▲ 20	▲ 25.3%
伊丹市	39	45	36	34	39	0	0.0%
宝塚市	10	12	4	4	17	7	70.0%
大阪市	114	109	102	103	106	▲ 8	▲ 7.0%
豊中市	27	25	14	12	16	▲ 11	▲ 40.7%
東京圏	65	79	73	72	68	3	4.6%
その他	306	294	274	239	214	▲ 92	▲ 30.1%

転出先別転出数

単位 (世帯)	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化 (H29-R3)	
						実数	増加率
合計	973	957	907	853	949	▲ 24	▲ 2.5%
神戸市	71	76	64	77	78	7	9.9%
明石市	14	18	18	26	23	9	64.3%
西宮市	80	68	100	92	89	9	11.3%
伊丹市	99	121	98	105	117	18	18.2%
宝塚市	58	46	49	47	43	▲ 15	▲ 25.9%
大阪市	61	66	64	67	63	2	3.3%
豊中市	29	20	22	21	27	▲ 2	▲ 6.9%
東京圏	105	119	109	72	77	▲ 28	▲ 26.7%
その他	456	423	383	346	432	▲ 24	▲ 5.3%

社会増減数 (転入-転出)

単位 (世帯)	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	変化 (H29-R3)
合計	▲ 272	▲ 257	▲ 292	▲ 299	▲ 378	▲ 106
神戸市	▲ 16	▲ 23	▲ 18	▲ 41	▲ 34	▲ 18
明石市	▲ 8	▲ 9	▲ 13	▲ 19	▲ 15	▲ 7
西宮市	▲ 1	6	▲ 39	▲ 45	▲ 30	▲ 29
伊丹市	▲ 60	▲ 76	▲ 62	▲ 71	▲ 78	▲ 18
宝塚市	▲ 48	▲ 34	▲ 45	▲ 43	▲ 26	22
大阪市	53	43	38	36	43	▲ 10
豊中市	▲ 2	5	▲ 8	▲ 9	▲ 11	▲ 9
東京圏	▲ 40	▲ 40	▲ 36	0	▲ 9	31
その他	▲ 150	▲ 129	▲ 109	▲ 107	▲ 218	▲ 68

資料：尼崎市都市政策課

3 町丁目別移動

ファミリー世帯の社会増減を詳細に把握するために、地区ごとに転入・転出超過数が多い町丁目を整理した。転入超過数をみると、令和3年では、園田地区の「南塚口町6丁目」(28世帯)、「若王寺3丁目」(24世帯)、大庄地区の「大庄西町4丁目」(21世帯)が、市内でも多い。

一方、転出超過数は、立花地区の「塚口本町1丁目」及び園田地区の「南清水」(ともに18世帯)が最も多く、次いで、小田地区の「潮江1丁目」、園田地区の「南塚口町3丁目」及び「上坂部2丁目」(いずれも16世帯)が多い。

町丁目別 ファミリー世帯の転入超過数(上位5位、単位:世帯)

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年					
中央地区	西難波町1丁目	7	北竹谷町1丁目	16	東難波町4丁目	14	西大物町	16	北大物町	7
	北大物町	6	東難波町4丁目	13	西難波町3丁目	6	東難波町4丁目	5		
小田地区	下坂部3丁目	47	下坂部3丁目	25	杭瀬北新町3丁目	10	長洲中通3丁目	8	長洲中通3丁目	7
	善法寺町	8	久々知西町1丁目	11	長洲中通3丁目	9	常光寺1丁目	7	長洲中通2丁目	6
	高田町	7	杭瀬北新町3丁目	11	久々知西町1丁目	6	杭瀬寺島1丁目	6	神崎町	5
	常光寺2丁目	5	善法寺町	8	杭瀬南新町4丁目	5	長洲東通1丁目	6		
大庄地区	琴浦町	7	崇徳院3丁目	6			蓬川町	6	大庄西町4丁目	21
	大庄西町4丁目	6	元浜町3丁目	5			大庄西町4丁目	6	大庄北1丁目	6
立花地区	富松町3丁目	16	富松町1丁目	37	富松町3丁目	6	富松町4丁目	10	尾浜町2丁目	10
	富松町4丁目	8	水堂町2丁目	9	上ノ島町2丁目	6	富松町2丁目	9	栗山町2丁目	10
	三反田町3丁目	7	南塚口町7丁目	5	三反田町2丁目	5	水堂町2丁目	8	富松町4丁目	8
			富松町4丁目	5			塚口町4丁目	7	上ノ島町2丁目	7
武庫地区	武庫之荘5丁目	13	武庫之荘6丁目	11	武庫町1丁目	15	武庫之荘西2丁目	9	西昆陽2丁目	11
	西昆陽2丁目	9	武庫之荘7丁目	10	武庫之荘7丁目	12	武庫の里2丁目	7	武庫之荘本町2丁目	10
	武庫の里1丁目	8	武庫元町1丁目	10	武庫之荘6丁目	8	武庫町2丁目	6	武庫之荘6丁目	8
	武庫元町1丁目	7	南武庫之荘9丁目	6	武庫之荘8丁目	7	武庫豊町3丁目	5	武庫之荘8丁目	8
	南武庫之荘9丁目	7	武庫の里1丁目	5	武庫の里1丁目	5	武庫之荘本町1丁目	5	武庫の里2丁目	8
園田地区	上坂部1丁目	196	上坂部1丁目	102	南塚口町6丁目	22	東塚口町1丁目	48	南塚口町6丁目	28
	東園田町8丁目	9	南塚口町4丁目	17	瓦宮2丁目	6	若王寺2丁目	8	若王寺3丁目	24
	御園2丁目	8	東園田町8丁目	8	小中島2丁目	5	東園田町3丁目	6	田能1丁目	16
	食満6丁目	5	瓦宮1丁目	6	田能5丁目	5	南塚口町6丁目	6	食満7丁目	7
				食満7丁目	5	戸ノ内町2丁目	5	東園田町8丁目	6	

資料: 尼崎市都市政策課

(注1) 市内転居による地区間移動を含む

(注2) 4世帯以下の町丁目は、上位5位内でも省略

町丁目別 ファミリー世帯の転出超過数(上位5位、単位:世帯)

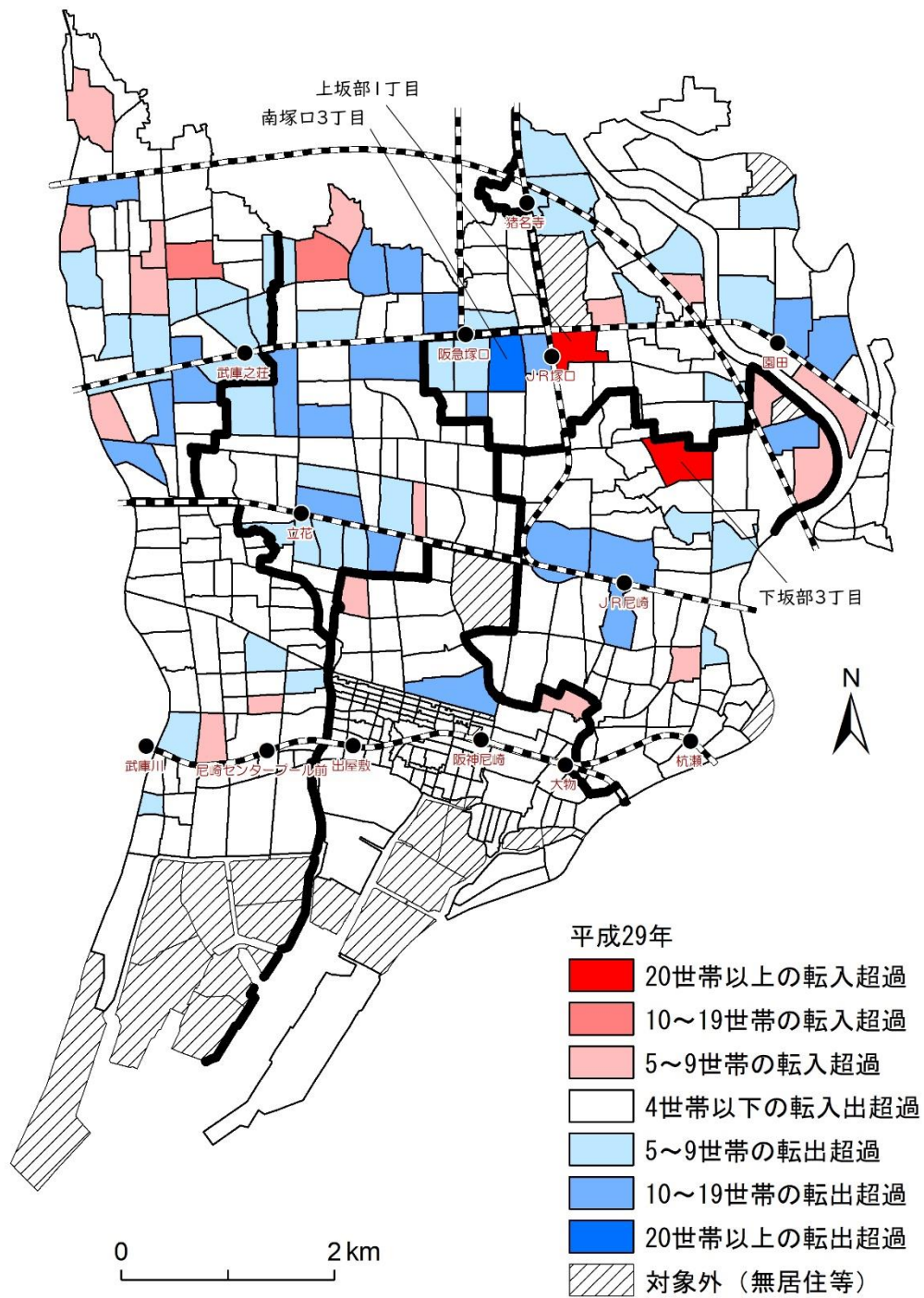
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年					
中央地区	東難波町5丁目	12	東難波町5丁目	9	東難波町3丁目	9	東難波町5丁目	10		
			西難波町1丁目	8	昭南通2丁目	6				
小田地区	潮江1丁目	14	潮江5丁目	18	浜2丁目	7	潮江5丁目	15	潮江1丁目	16
	潮江5丁目	11	額田町	17	今福1丁目	7	額田町	9	西川2丁目	11
	長洲本通1丁目	11	潮江1丁目	13	西川2丁目	7	神崎町	7	潮江3丁目	7
	額田町	10	次屋1丁目	10	潮江1丁目	6	今福1丁目	6	額田町	6
大庄地区	次屋1丁目	7	潮江2丁目	6	常光寺3丁目	6	潮江2丁目	6	善法寺町	6
			浜2丁目	6	金楽寺町2丁目	6	長洲東通3丁目	6		
立花地区	大庄川田町	7	大庄中通1丁目	5	稲葉元町1丁目	7	大庄川田町	6	大庄川田町	6
	崇徳院2丁目	6	道意町6丁目	5	崇徳院2丁目	5	大庄中通1丁目	6		
武庫地区	元浜町3丁目	6	大庄西町3丁目	5	大庄西町1丁目	5	大庄西町1丁目	6		
	大庄西町1丁目	6			浜田町3丁目	5				
	塚口町1丁目	18	南武庫之荘2丁目	20	南武庫之荘2丁目	23	南武庫之荘3丁目	22	塚口本町1丁目	18
	南武庫之荘2丁目	16	南武庫之荘3丁目	15	上ノ島町3丁目	15	塚口町1丁目	14	七松町2丁目	13
園田地区	塚口町4丁目	15	武庫之荘東2丁目	15	塚口本町1丁目	14	武庫之荘東2丁目	13	南武庫之荘3丁目	13
	上ノ島町3丁目	13	立花町2丁目	11	南武庫之荘3丁目	9	三反田町2丁目	11	南武庫之荘2丁目	10
武庫地区	立花町1丁目	12	塚口町6丁目	10	名神町2丁目	8	塚口本町1丁目	11	武庫之荘東2丁目	10
			上ノ島町1丁目	10	上ノ島町1丁目	8				
	南武庫之荘7丁目	14	武庫之荘2丁目	13	南武庫之荘4丁目	16	南武庫之荘7丁目	20	武庫之荘2丁目	11
	武庫之荘西2丁目	12	武庫之荘1丁目	12	南武庫之荘5丁目	14	南武庫之荘1丁目	17	武庫町2丁目	11
	常松1丁目	11	常松1丁目	12	南武庫之荘7丁目	13	南武庫之荘4丁目	13	武庫之荘1丁目	10
園田地区	南武庫之荘5丁目	11	武庫町1丁目	11	武庫之荘東1丁目	11	南武庫之荘8丁目	12	南武庫之荘5丁目	10
	南武庫之荘10丁目	10	南武庫之荘7丁目	10	武庫元町1丁目	10	南武庫之荘5丁目	8	南武庫之荘7丁目	10
園田地区	南塚口町3丁目	21	東園田町5丁目	15	南塚口町2丁目	17	東園田町5丁目	14	南清水	18
	南塚口町5丁目	16	南塚口町3丁目	15	猪名寺1丁目	11	南塚口町3丁目	14	南塚口町3丁目	16
	東園田町1丁目	15	東園田町6丁目	12	東園田町6丁目	10	小中島3丁目	11	上坂部2丁目	16
	東園田町5丁目	11	南塚口町2丁目	11	南塚口町5丁目	9	御園3丁目	11	南塚口町5丁目	12
	東園田町6丁目	10	猪名寺1丁目	10	東園田町2丁目	8	南塚口町5丁目	9	東園田町5丁目	11
			御園3丁目	10	東園田町4丁目	8	南清水	9		

資料: 尼崎市都市政策課

(注1) 市内転居による地区間移動を含む

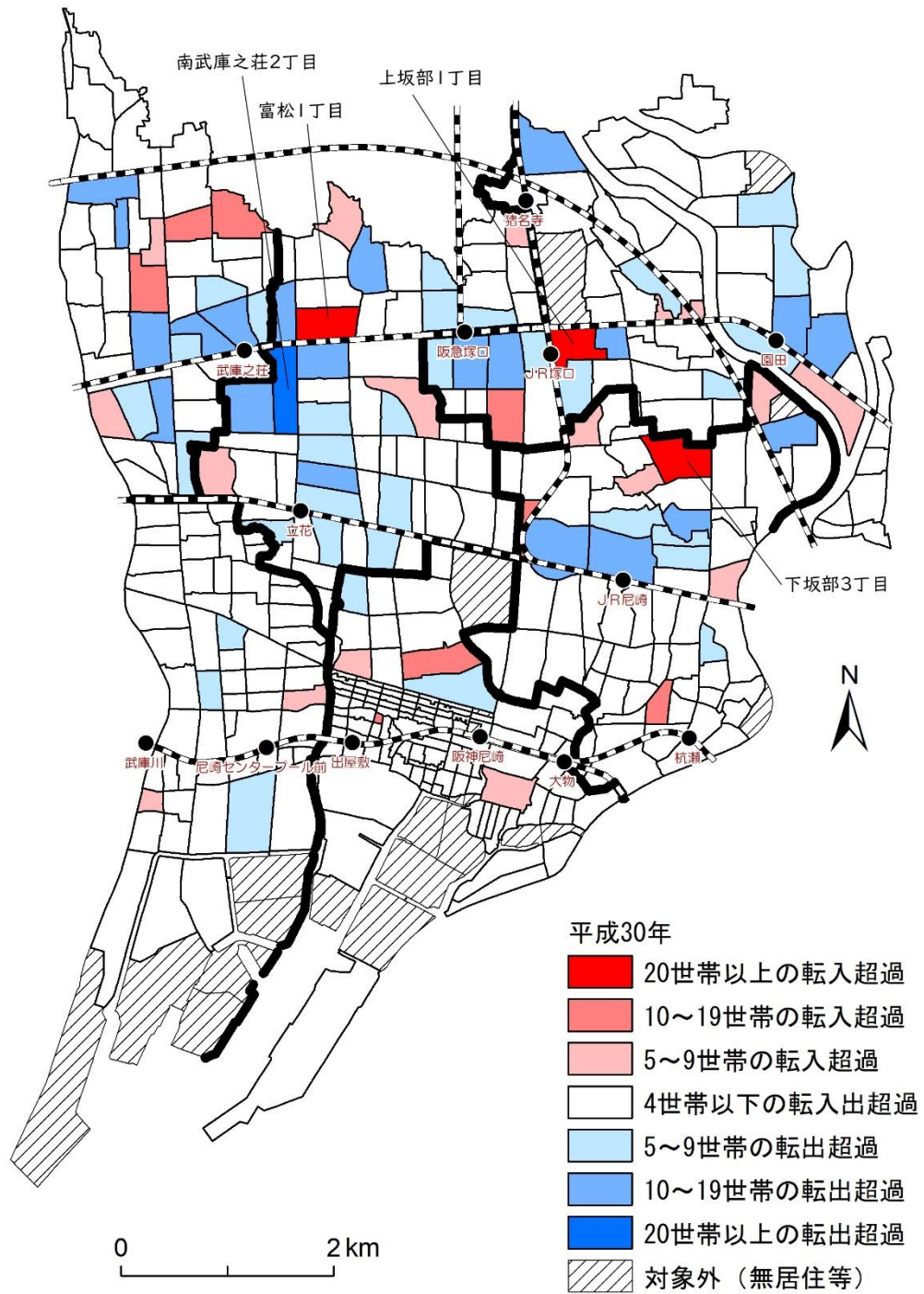
(注2) 4世帯以下の町丁目は、上位5位内でも省略

町丁目別 ファミリー世帯の社会増減（平成29年）



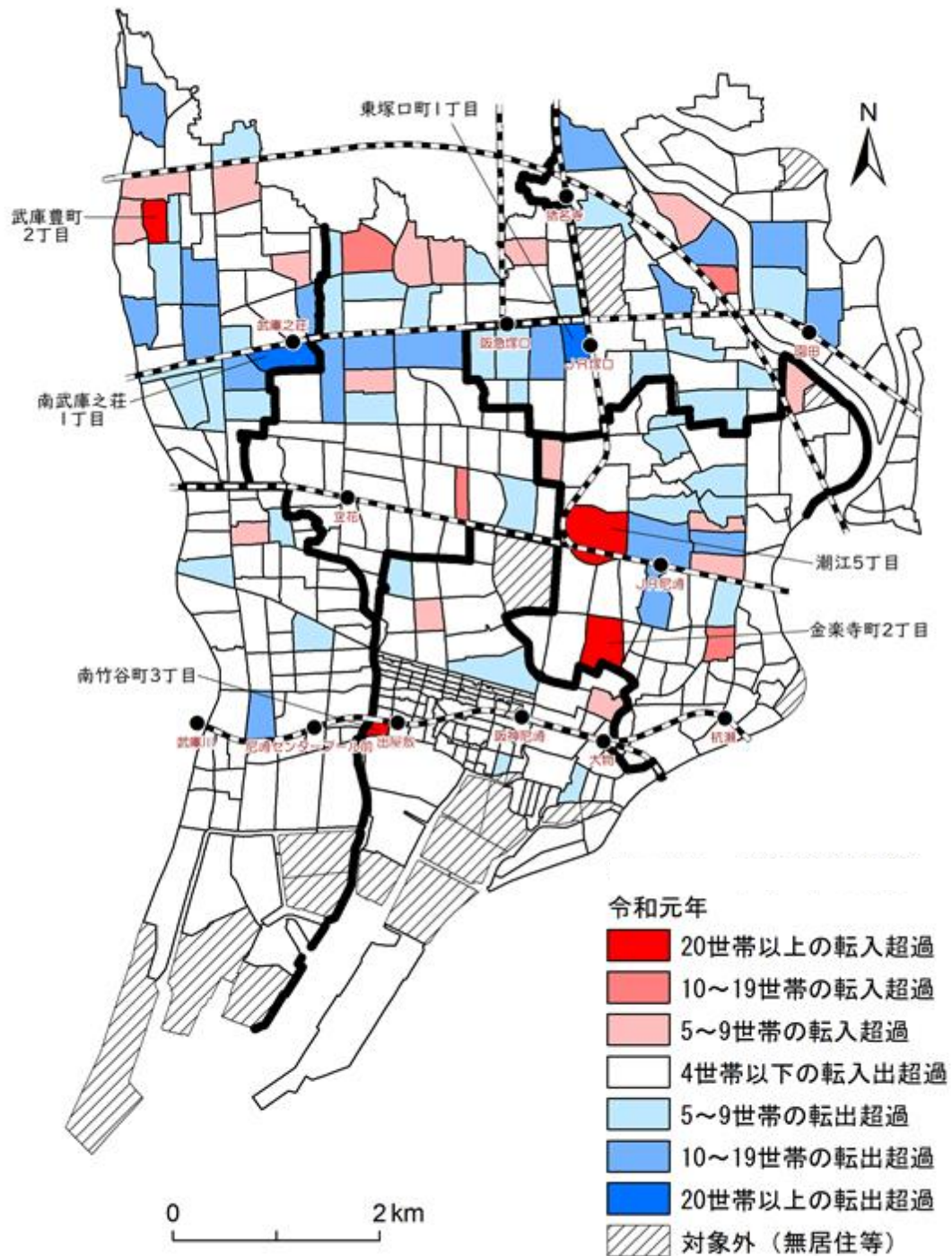
資料：尼崎市都市政策課

町丁目別 ファミリー世帯の社会増減（平成30年）



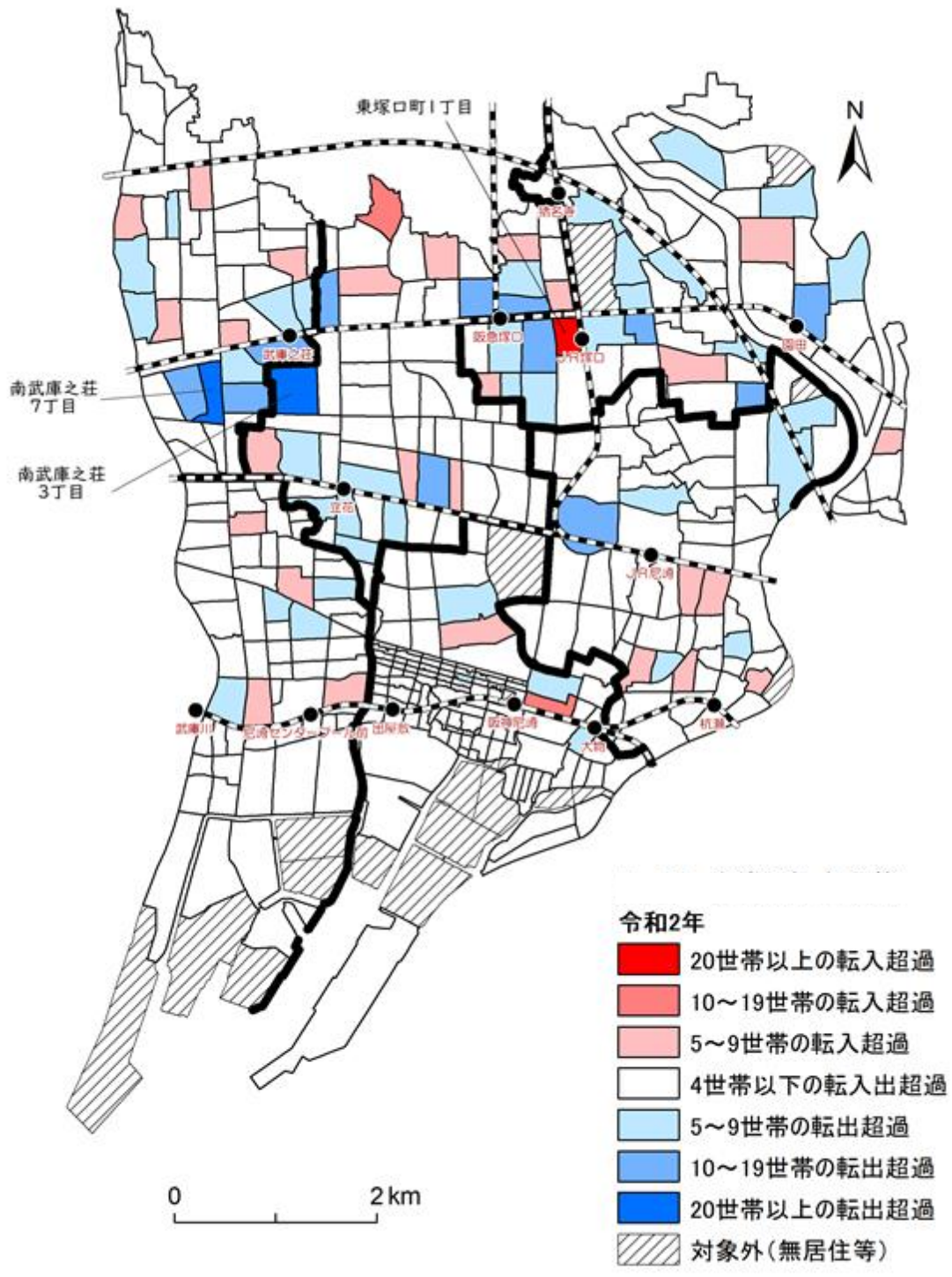
資料：尼崎市都市政策課

町丁目別 ファミリー世帯の社会増減（令和元年）



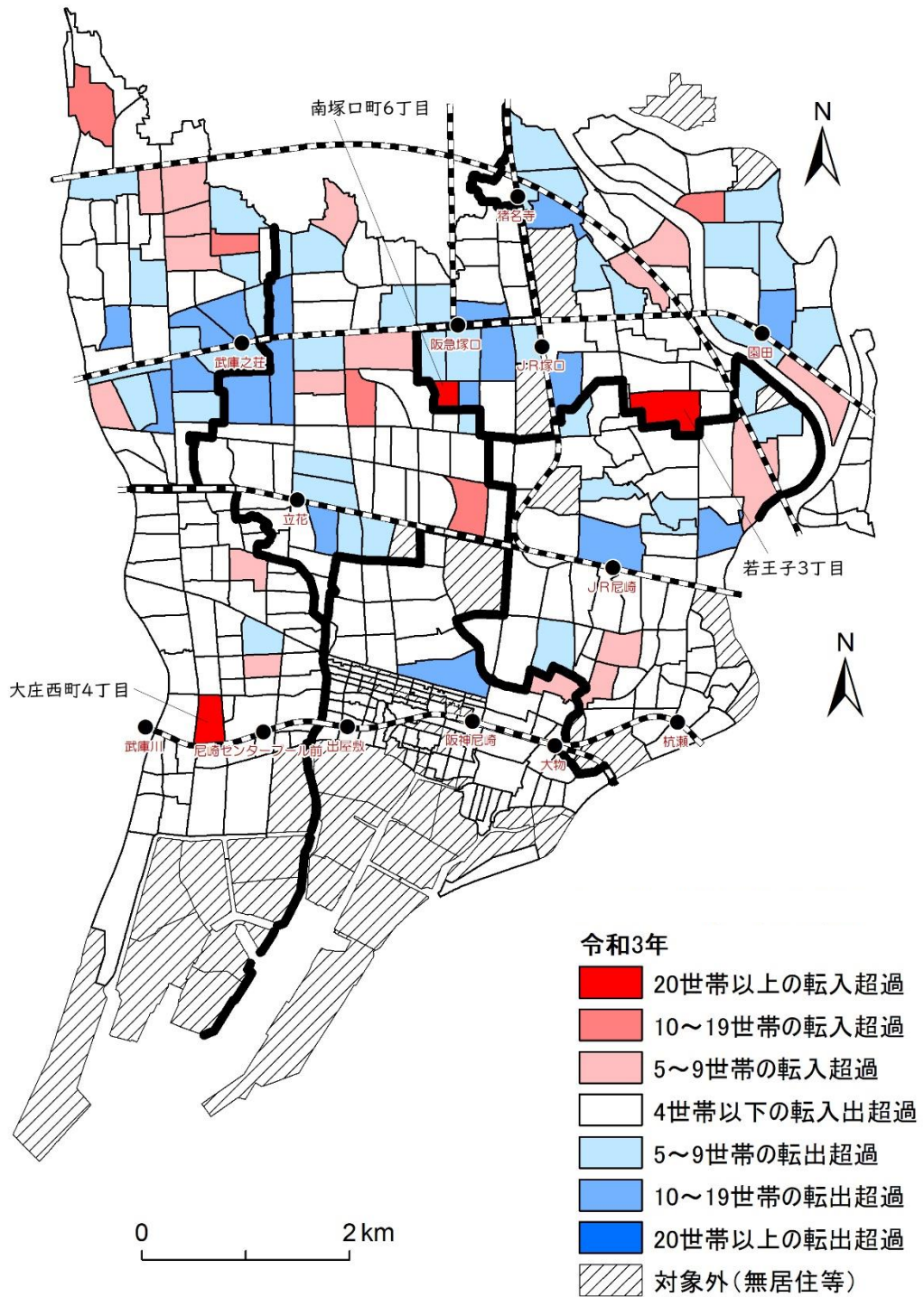
資料：尼崎市都市政策課

町丁目別 ファミリー世帯の社会増減（令和2年）



資料：尼崎市都市政策課

町丁目別 ファミリー世帯の社会増減（令和3年）



資料：尼崎市都市政策課